

**第7次地域保健医療計画**  
**令和2年度取組実績及び令和3年度実施計画**  
(市町・保健所)

別紙2（市町（国民健康保険及び教育委員会を含む。）、保健所）

## 第7次地域保健医療計画の令和2年度取組項目の実績及び令和3年度実施計画調査票

## 1 脳卒中医療

（目標）

- ・ 予防・早期発見重視の観点から、医療機関、医師会、医療保険者、市町で連携を強化し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行います。
- ・ 脳卒中の予後改善を図るため、プレホスピタル・ケア（病院前救護）、急性期医療から回復期、維持期までの医療連携体制の構築を推進します。
- ・ 患者が病期に応じ、適切な治療やケアが享受できるよう医療情報システムや介護・福祉サービスの情報提供を行います。
- ・ 埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」（以下「とねっと」という。）利用に必須である「かかりつけ医カード」の取得者の増加、システム利用機関の拡大等に市町、医療機関、医師会など関係機関が協力して取り組みます。

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	脳卒中ハイリスク者に対する医学的管理、医療保険者による保健指導の充実	行田市	○健康相談37件、脳血管疾患の講座は、コロナウイルス感染症の影響により、開催中止	B	○健康相談の実施 ○健康づくりのための教室の実施	保健センター
			○特定保健指導（動機付け支援、積極的支援）の実施	A	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施	保険年金課
		加須市	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施（参加者212人）	A	○特定保健指導を実施する。（動機づけ支援、積極的支援の実施）	いきいき健康長寿課
		久喜市	○保健師や栄養士等による相談を実施した。（R2延べ726人） ○特定保健指導を実施した。	B	○健康相談及び栄養相談を実施する。 ○健康教育の実施 ○特定保健指導を実施する。	中央保健センター
		蓮田市	○特定健診の結果、特定保健指導対象外で、高血圧や脂質異常症等があり、医療受診の必要性がある者へ電話による健康相談を実施した。 ・ 定例健康相談実施数 8回 20名 ・ 特定保健指導実施数 積極的支援6名、動機づけ支援40名 ・ 医療受診の必要性がある者への電話健康相談数 45件	A	○健康相談を実施する。 ○特定保健指導を実施する。 ○特定保健指導対象外で高血圧や脂質異常症、糖尿病等リスクの高い者に対して、健康相談を実施する。 ○特定健診結果の受診勧奨値の者に対しては、必要に応じて受診確認及び受診勧奨を実施する。	健康増進課
		幸手市	○特定保健指導実施時、健診受診結果から受診勧奨値の者に対し、受診勧奨を実施 ○成人健康相談の実施 14回 延べ46人 ○所内栄養相談 12回 延べ23人	A	○特定保健指導実施時、高血圧、高脂血症、高血糖、肥満傾向のある人に生活習慣の見直しなどの保健指導を実施する。 ○成人健康相談等で健康相談を実施する。 ○所内栄養相談等で栄養相談を実施する。	健康増進課
		宮代町	○特定保健指導を67名（積極的：9名 動機付け：58名）に実施した。	A	○特定保健指導を実施する。	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施（61人）	A	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）を実施する。	健康支援課 町民課
		幸手保健所	○健康づくり・食育連絡会議を通じ情報共有、情報交換を実施し地域の健康課題の抽出、対策の検討を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。	C	○「KDBデータの効果的な活用-地域の健康課題を見直そう-」をテーマに保険者、事業所の健診機関等の関係者を対象とした研修会の開催予定。	保健予防 推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワークなどの連携体制の促進	加須市	○市ホームページに掲載するなどして、「とねっと」の救急面での活用についてPRを行い、普及啓発に努めた。	A	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」が持つ救急現場での患者情報参照機能等について、医療機関、消防機関及び住民への普及啓発を行い、利用を促進する。	健康医療 推進課
		羽生市	市窓口等に「とねっと」に関する配布物一式を設置し来庁者へPR。また啓発用のぼり旗を設置するなどし普及啓発を図った。	A	○「とねっと」の普及啓発を図る。	健康づくり 推進課
		加須保健所 幸手保健所	OR3.3.5 令和2年度東部北地区救急医療対策協議会及び小児救急医療部会合同会議（書面開催）	A	○東部北地区救急医療対策協議会及び小児救急医療部会合同会議において、各医療機関及び消防機関との連携を図る	総務・地域 保健推進担当

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への啓発及び情報提供	加須市	○毎月発行の「市報かぞ」や市公式ホームページに埼玉県救急医療情報センター、埼玉県医療機能情報提供システム及び夜間・休日等における市内在宅当番医等の情報を掲載し、市民に情報提供した。 ○加須市内各病院事務長との「加須市内病院事務連絡会」は新型コロナウイルスの影響により開催されなかった。	A	○埼玉県救急医療情報センター、埼玉県医療機能情報提供システム及び夜間・休日における市内在宅当番医等の情報を、広報紙、ホームページ等で情報提供する。 ○市内各病院事務長との「加須市内病院事務連絡会」において、意見交換や情報の共有を図る。	健康医療推進課
		加須保健所	○医療機能情報システムによる医療機能等の情報提供の推進（依頼件数266、提出件数264、進捗率 99.2%）	A	○医療機能情報提供システムを活用し、住民に対して、必要な医療機関、医療機能等の情報提供を推進する。	総務・地域保健推進担当
		幸手保健所	○医療機能情報提供システムによる医療機能等の情報提供の推進（依頼件数458、提出件数398、進捗率86.9%）	A	○医療機能情報システムによる、住民に対しての必要な医療機関、医療機能等の情報提供の推進	総務・地域保健推進担当

## 2 糖尿病医療

（目標）

- ・ 特定健診・保健指導を効率的効果的に実施し、生活習慣の改善を図り、糖尿病予防に努めます。
- ・ 糖尿病性腎症重症化予防対策を推進します。
- ・ 早期診断された患者の合併症予防のために、標準的な糖尿病教育プログラムが受けられるような医療機関を増やします。
- ・ 「とねっと」利用に必須である「かかりつけ医カード」の取得者の増加、システム利用機関の拡大等に市町、医療機関、医師会など関係機関が協力して取り組みます。
- ・ 地域の管理栄養士等のスキルアップと指導の標準化を図るため、市町、医師会が協力して地域として糖尿病教育の質が向上するような研修会を実施します。

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	特定健診・保健指導の効果的な実施	行田市	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施	A	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施	保険年金課
		加須市	○人工知能を活用し未受診者への受診勧奨を実施した（4回）。 ○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）を実施した（212人）。 ○特定保健指導対象外で高血圧や脂質異常症、糖尿病等リスクの高い者に、健康相談を実施した。 ○特定健診結果の受診勧奨値の者に、必要に応じて受診確認又は受診勧奨を実施した。	A	○人工知能を活用し未受診者への受診勧奨を実施 ○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施 ○特定保健指導対象外で高血圧や脂質異常症、糖尿病等リスクの高い者に、健康相談を実施 ○特定健診結果の受診勧奨値の者に、必要に応じて受診確認又は受診勧奨を実施	いきいき健康長寿課
		羽生市	○受診勧奨2回実施（8月、10月） ○市庁舎ほか公共施設、実施医療機関に特定健康診査等受診勧奨用ポスターを掲示 ○福祉健康まつり、東部地区共同での受診勧奨PRを実施（啓発品配布） <b>コロナウィルス感染拡大防止の為、中止</b>	B	○受診勧奨2回実施 ○市庁舎ほか公共施設、実施医療機関に特定健康診査等受診勧奨用ポスターを掲示 ○福祉健康まつり、東部地区共同での受診勧奨PRを実施	国保年金課
			○健診啓発用ポロシャツの着用、公民館等へ健診啓発用のぼり旗の設置	A	○健診啓発用ポロシャツの着用、公民館等への健診啓発用のぼり旗の設置	健康づくり推進課
		久喜市	特定保健指導対象者への案内通知を送付。 未利用者に対して、電話、郵便による利用勧奨を実施しました。 職員の資質向上のため、研修会に参加した。	B	○特定保健指導対象者への案内通知を送付する。 ○特定保健指導の未利用者に対し、電話、郵便等による利用勧奨を実施する。 ○保健指導従事者の資質向上のため、研修会へ参加する。	中央保健センター

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	特定健診・保健指導の効果的な実施	久喜市	<p>○10月に過去5年間不定期受診をしている40歳代・50歳代の未受診者にアドバイスシート（1,364通）による受診勧奨を実施。</p> <p>○本庁および各支所にて、のぼりや受診啓発スローガンの設置により受診啓発を実施。</p> <p>○本庁、各支所、保健センターおよび特定健診実施医療機関に、特定健診案内ポスターを掲示。</p> <p>○特定健診実施期間である8月～11月まで、国民健康保険課職員が週1回特定健診PR用ポロシャツを着用し、特定健診の受診啓発を行った。</p> <p>○啓発品（特定健診PR入りポケットティッシュ6,000個）を作成し、本庁窓口等で配布するとともに受診勧奨を実施。</p> <p>○特定健診実施医療機関に、治療中の方への受診勧奨の協力依頼を行った。</p>	B	<p>○未受診者へ受診勧奨ハガキを送付。</p> <p>○過去5年間不定期受診をしている40歳代・50歳代の未受診者にアドバイスシートによる受診勧奨を実施。</p> <p>○本庁および各支所にて、のぼりや受診啓発スローガンの設置により受診啓発を実施。</p> <p>○本庁、各支所、保健センターおよび特定健診実施医療機関に、特定健診案内ポスターを掲示。</p> <p>○特定健診実施期間である6月～11月まで、国民健康保険課職員が週1回特定健診PR用ポロシャツを着用し、特定健診の受診啓発を行う。</p> <p>○啓発品（ポケットティッシュ）を作成し、本庁等窓口や健康食育まつり等で配布するとともに受診勧奨を実施。</p> <p>○特定健診実施医療機関に、治療中の方への受診勧奨の協力依頼を行う。</p>	国民健康保険課
		蓮田市	<p>○特定健診結果で受診勧奨値の者に対して、電話による健康相談を実施し重症化の予防に努めた。また、特定保健指導の実施率が向上するよう利用勧奨を実施した。</p> <p>・特定保健指導対象外者への電話健康相談数45件</p> <p>・特定保健指導対象者へのはがき及び電話による利用勧奨を実施した。</p> <p>・特定保健指導の利用申込のなかった者に対し再度別日程の案内通知を送付した。</p>	A	<p>○特定健診の結果で医療が必要と思われる者に対し、受診勧奨を実施する。</p> <p>○特定保健指導対象者に対しては、実施率が向上するよう案内通知等の工夫や電話や訪問等による利用勧奨を実施する。</p> <p>○特定保健指導対象外で保健指導が必要な者に対して、健康相談等を実施する。</p>	健康増進課
		幸手市	<p>○保健指導対象者に初回面接を実施し、必要に応じて受診勧奨や健康相談・健康教育を案内した。また、対象者以外の人には結果郵送と合わせて健康相談・健康教育のチラシを配布した。特定健診受診者1,894人</p> <p>○特定保健指導の未利用者に対して、電話で利用勧奨を実施した。</p> <p>○庁舎内や公用車に特定健診の受診勧奨のポスターなどの掲示を行い、受診者数向上を図った。</p> <p>○集団健診は土日を開催するとともに、がん検診と同時実施をした。年18日（うち土日6日）</p>	B	<p>○保健指導対象者には初回面接を実施し、必要に応じて受診勧奨や健康相談・栄養相談・健康教室事業への参加を勧める。それ以外の受診者には郵送等で情報提供し、希望者が参加できるようにする。</p> <p>○3年間受診がなかった人、不定期受診者、特定保健指導の未利用者に対して、県の国保ヘルスアップ支援事業を活用し、通知による受診・利用勧奨を実施する。</p> <p>○庁舎内や公用車に特定健診の受診勧奨のポスターなどの掲示を行い、受診者数向上を図る。</p>	保険年金課 健康増進課
		白岡市	<p>○特定健診未受診への受診勧奨（はがき送付2回延べ8,550件、SMS配信1回500件）</p> <p>○特定健診の周知啓発活動の実施（民間事業者によるチラシ配布、医療機関や駅にポスター掲示、ホームページ・広報への掲載、課職員による啓発用ポロシャツの着用、啓発用ウェットティッシュの配布等） （健康まつり、東部地区共同PRのイベントは新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった）</p> <p>○特定保健指導対象者に個別通知と電話による受診勧奨（229人）</p>	B	<p>○特定健診未受診への受診勧奨</p> <p>○特定健診の周知啓発活動の実施</p> <p>○特定保健指導対象者に個別通知と電話による受診勧奨</p>	保険年金課
		宮代町	<p>○通知や電話による利用勧奨を行い、67名に特定保健指導を行った。</p> <p>○集団健診を受診した40代39名に、リーフレットによる生活改善のための情報提供を行った。</p>	A	<p>○特定保健指導において案内通知や電話による利用勧奨を行う。</p> <p>○対象者に沿った特定保健指導を実施する。</p> <p>○集団特定健診を受診した40代の方に、検査結果に沿った情報提供を行う。</p>	健康介護課 健康増進担当
		宮代町	<p>○町内の個別健診実施医療機関にのぼり・ポスターを配布し、特定健診をPRした。</p> <p>○集団健診の予約、個別検診の受診、人間ドックの助成、診療情報の提供のいずれにも該当しない方を抽出し、受診勧奨通知を送付した。（4,618名）</p>	A	<p>○町内の個別健診実施医療機関にのぼり・ポスターを配布して、特定健診をPRする。</p> <p>○集団健診の予約開始前に、全対象者に受診予約の勧奨通知を送付した。</p> <p>○新40歳及び、集団健診を未申込みの方で受診に繋がりそうな方を抽出し、受診勧奨通知を送付する。</p>	住民課 国保・後期担当

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	特定健診・保健指導の効果的な実施	杉戸町	○集団健診は土・日も開催するとともに胃がん検診、肺がん検診、大腸がん、前立腺がんと同時に実施(7日間 受診者661人) ○町内指定医療機関で個別健診を実施(11医療機関 7か月間 受診者1,399人) ○受診勧奨はがき発送(256通) ○40、41歳になる対象者に無料クーポン券を配付(186人) ○集団健診の結果相談会で、特定保健指導の対象者には初回面接を実施。(61人)	B	○集団健診は土・日も開催するとともに胃がん検診、肺がん検診、大腸がん、前立腺がんと同時に実施することにより、受診しやすい環境を整える。 ○受診者の利便性を考慮し、町内指定医療機関で個別健診を実施する。 ○受診勧奨はがきを発送する。 ○40、41、42歳になる対象者に無料クーポン券を配付する。 ○集団健診の結果相談会で、特定保健指導の対象者には初回面接を行い、利用率の向上を図る。	健康支援課 町民課
		加須保健所	健康課題解決のためのデータ利用研修の実施(10/27、25人参加)	A	○特定健診・特定保健指導担当者等を対象とした研修会、会議の開催。	保健予防 推進担当
		幸手保健所	○健康づくり・食育連絡会議を通じ情報共有、情報交換を実施し地域の健康課題の抽出、対策の検討及び糖尿病性腎症予防研修会も行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。	C	○「コロナ禍における自粛生活やリモートワーク下のアルコール等の摂り方(依存症)と生活習慣病」をテーマに保険者、事業所健診機関等の関係者を対象とした研修会を開催予定	保健予防 推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	糖尿病性腎症重症化予防対策の実施	行田市	○糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施(受診勧奨、保健指導)勧奨により受診19名、保健指導10名 継続支援保健指導6名	A	○埼玉県及び埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業である「糖尿病性腎症重症化予防対策プログラム」の実施	保険年金課
		加須市	○埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業である、糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムを実施した。(8名に対して保健指導実施)	A	○埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業である、糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムを実施する。	いきいき健康 長寿課
		羽生市	○埼玉県国民健康保険団体連合会と共同で「糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく生活習慣病重症化予防対策事業」を実施(通知書発送数 受診勧奨:41件・保健指導:34件・継続支援:5件)	A	○埼玉県国民健康保険団体連合会と共同で「糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく生活習慣病重症化予防対策事業」を実施(受診勧奨・保健指導・継続支援)	国保年金課
		久喜市	○埼玉県方式として国保連と共同で「糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく生活習慣病重症化予防対策事業」を実施した。78人に受診勧奨通知を発送、うち40人に受診勧奨電話を実施。また、114人に保健指導案内通知を発送し、うち33人に保健指導を実施し、その中で28人が修了した。	A	○埼玉県方式として国保連と共同で「糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく生活習慣病重症化予防対策事業」を実施する(受診勧奨・保健指導・継続支援)	国民健康 保険課
		蓮田市	○埼玉県及び埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業「糖尿病性腎症重症化予防対策プログラム」の実施(受診勧奨52人、保健指導18人)	A	○埼玉県及び埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業「糖尿病性腎症重症化予防対策プログラム」の実施	健康増進課
		幸手市	○糖尿病性腎症重症化予防のための生活習慣改善支援プログラム実施した。(10人参加) ○特定保健指導対象者で受診勧奨値の者に対し、受診勧奨を実施	A	○糖尿病性腎症重症化予防プログラム対策事業を実施する。	保険年金課 健康増進課
		白岡市	○埼玉県及び埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業「糖尿病性腎症重症化予防対策プログラム」の実施(受診勧奨24人、保健指導4人、継続支援4人)	B	○埼玉県及び埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業「糖尿病性腎症重症化予防対策プログラム」の実施	保険年金課
		宮代町	○糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施し、7名に保健指導を実施、35名に受診勧奨を実施した。また、受診勧奨後も未受診の方に対し、訪問して受診勧奨を行った。 ○対象者の範囲を広げることを目的とし、近隣市町(杉戸町・春日部市・幸手市)と連携して事業を実施した。(保健指導該当者なし)	A	○糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施。 ○対象者の範囲を広げることを目的とし、近隣市町(杉戸町・春日部市・幸手市)と連携して事業を実施する。	住民課 国保・ 後期担当
		杉戸町	○糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施(受診勧奨4人 保健指導6人 継続支援4人) ○対象者の範囲を広げることを目的とし、今年度も近隣市町(宮代町・春日部市)と連携して事業を実施	A	○糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施する。 ○対象者の範囲を広げることを目的とし、近隣市町(宮代町・春日部市・幸手市)と連携して事業を実施する。	町民課

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	糖尿病患者の教育プログラムの充実	行田市	○ 糖尿病健康相談 実績なし ・新型コロナウイルス感染緊急事態宣言のため4月5月は中止の影響あり	C	○糖尿病健康相談は実施継続	保健センター
		加須市	○埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業である、糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムを実施した。（8名に対して保健指導実施）	A	○埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業である、糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムを実施する。	いきいき健康長寿課
		久喜市	食生活改善推進員協議会と協力し生活習慣病予防講座を3回実施した。保健師や栄養士による健康相談を実施した。	B	○健康相談及び栄養相談を実施し、重症化予防を図る。	中央保健センター
		蓮田市	○定例健康相談 実施回数 8回 20名 糖尿病についての相談者 3名 ○埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業である、糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムを実施した。（受診勧奨：52名、保健指導：18名）	A	○埼玉県国民健康保険団体連合会との共同事業である、糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムを実施する。 ○健康相談にて、糖尿病患者の重症化予防を図る。	健康増進課
		幸手市	○健康相談・栄養相談等での保健・栄養指導を実施 ○特定健診受診結果から受診勧奨値の者に対し、受診勧奨を実施する予定だったが結果返却方法の変更等で2年度は実施することができなかった。次年度は体制を整え実施したい。 ○糖尿病性腎症重症化予防のための生活習慣改善支援プログラムを6ヶ月実施（10人参加）	B	○健康相談・栄養相談等での保健・栄養指導の実施 ○特定健診受診結果から受診勧奨値の者に対し、電話にて受診勧奨を実施 ○糖尿病性腎症重症化予防のための生活習慣改善支援プログラムの実施	保険年金課 健康増進課
		宮代町	○血糖コントロール教室を8名（延べ20名）に実施した。	A	○集団特定健診においてHbA1c値が基準以上であった方に、改善に向けた教室を開催する。	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施（受診勧奨4人 保健指導6人 継続支援4人） ○対象者の範囲を広げることを目的とし、今年度も近隣市町（宮代町・春日部市）と連携して事業を実施	A	○糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施する。 ○対象者の範囲を広げることを目的とし、近隣市町（宮代町・春日部市・幸手市）と連携して事業を実施する。	町民課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	「とねっと」の推進	加須市	○「とねっと」の協議会総会や協議会だよりを通じて、医療機関等に連携パス機能の利用を呼びかけるなどし、普及・啓発に努めた。	A	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」の連携パス機能について、医療機関等への普及啓発を行い、利用を促進する。	健康医療推進課
		羽生市	市窓口等に「とねっと」に関する配布物一式を設置し来庁者へPR。また啓発用のぼり旗を設置するなどし普及啓発を図った。	A	「とねっと」を普及啓発し、利用促進を図る。	健康づくり推進課
		久喜市	○「とねっと」を活用した医療連携を市民に周知するため、市ホームページや広報などで「とねっと」普及啓発を実施した。 ○「とねっと」の周知・啓発を図るため、チラシを作成し、保健センターにおいて実施している乳幼児検診時に配布した。	A	○「とねっと」の周知・啓発を図るため、チラシを作成し、保健センターにおいて実施している各種保健事業の際に配布する。 ○職員の「とねっと」加入を促進するため、職員掲示板に加入依頼を掲載する。 ○広報に「とねっと」参加の啓発文を掲載する。	健康医療課
		蓮田市	○市のホームページに「とねっと」の利用について掲載し、利用の促進を図った。	B	○構成市町のひとつとして、取り組みに参画する。	健康増進課
		幸手市	○窓口に啓発用のぼり旗と配布物を設置し、来庁者へのPRを行った。 ○広報や市ホームページ等で「とねっと」の普及啓発を図るほか、出前講座などの機会に「とねっと」登録者数の増加に努めた。	A	○市民への普及啓発を実施する。	健康増進課
		宮代町	○とねっとのPRを目的に令和3年4月発行の保健センターガイドのとねっとについて掲載し周知を図った。	B	○「とねっと」について引き続き情報提供や周知を実施し普及を図る。	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	構成市町のひとつとして取組に参画するとともに、広報や窓口等で「とねっと」の普及啓発を実施した。	A	○「とねっと」による医療連携の推進と、町民への普及啓発を実施する。	健康支援課
		加須保健所	利根保健医療圏医療連携推進協議会総会（10/14）、利根地域医療連携連絡協議会（7/21, 11/13）に出席	A	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」を活用した医療連携体制の支援に努める。	総務・地域保健推進担当

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	糖尿病治療及び保健指導を担う専門職のスキルアップ	行田市	研修参加なし	C	○研修会等の参加	保健センター
		加須市	○保健指導従事者の資質の向上を図るため、各種研修会に参加した。	A	○各種研修会に参加し、保健指導従事者の資質の向上を図る。	いきいき健康長寿課
		久喜市	職員の資質向上のため、研修会に参加した。	B	○保健指導従事者の資質向上のため、研修会へ参加する。	中央保健センター
		蓮田市	○保健指導等に関する説明会に参加し、保健指導従事者の資質の向上に努めた。	A	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	健康増進課
		幸手市	○Zoomで実施する研修会等に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図った。	A	○各種研修に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	健康増進課
		白岡市	○各種研修に参加し保健指導従事者の資質の向上に努めた。	A	○各種研修に参加し保健指導従事者の資質の向上に努める。	保険年金課
		宮代町	○資質向上のため、研修会等へ参加した。	A	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○各種研修会（栄養士協議会研修会、勉強会等）に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図った。	A	○各種研修会に参加し、保健師、管理栄養士の資質の向上を図る。	健康支援課
		加須保健所	・生活習慣病重症化予防研修会の実施(12/10、13人参加)	A	○保健指導従事者を対象としたスキルアップ研修会の開催	保健予防推進担当

### 3 在宅医療の推進

（目標）

- ・ 患者が安心して在宅医療を受けられるように、包括かつ継続的な医療提供体制を推進します。
- ・ 医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、歯科衛生士、介護支援専門員（ケアマネジャー）、介護職員など医療と介護の多職種が連携したチームで、患者・家族をサポートする体制を推進します。
- ・ ICTを活用して医療・介護に関する様々な情報を医師、看護師、介護職員など医療と介護の各職種間で共有し、安心・安全なサービスを効率的に提供します。
- ・ 「とねっと」利用に必須である「かかりつけ医カード」の取得者の増加、システム利用機関の拡大等に市町、医療機関、医師会など関係機関が協力して取り組みます。
- ・ 地域の病院や有床診療所とかかりつけ医との連携を強化し、地域完結型の医療提供を推進します。

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	在宅療養を支援する連携体制の推進	行田市	<p>○行田市在宅医療・介護連携推進協議会は新型コロナウイルス感染の影響により中止。</p> <p>○作業部会を5部会（入退院調整・研修・患者情報共有ICT・普及啓発・病院有床）設置しており、令和2年度は、通常の参集型に加え、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ZOOMによる会議を開催。</p> <p>①入退院調整部会1回 ・行田市入退院調整手引きに関するアンケートの集計及び見直しを実施。</p> <p>②患者情報共有・ICT部会2回 ・在宅にて医療・介護の様々なサービスを受けている高齢者に関わる多職種が、患者情報共有を目的とした連携ツールである療養ノート「わたしの人生ファイル」の利用促進を図った。</p> <p>③研修部会5回 ・コロナ禍における研修のあり方を検討し、ZOOM会議への参加体験を行うなど、市内の医療介護従事者が参加できる体制整備を行った。</p> <p>④普及啓発部会2回 ・広報誌「行田人」の発行（年3回）により、地域の高齢者を支えるための医療・介護関係者の様々な取組を紹介し、普及啓発を図った。</p> <p>⑤病院有床部会0回（常設ではなく、必要に応じ開催）</p> <p>○療養ノート及びMCSの普及啓発のための紹介VTRの試写会を開催。</p> <p>○多職種の顔の見える関係づくりとして合同意見交換会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p> <p>○介護資源マップの管理、更新（事業所の内容更新）</p> <p>○機能強化型地域包括支援センター、行田市在宅医療・介護連携支援センターにおいて、在宅療養の相談、医療職・介護職からの在宅医療、介護に関する相談を受け付けた。</p> <p>○三師会（医師、歯科医師、薬剤師）、市、機能強化型地域包括支援センター、在宅医療・介護連携支援センターとのミーティングを2か月に1度、偶数月に開催（2月はZOOM開催）。</p>	B	<p>○医療、介護職の関係団体より選出し、行田市在宅医療・介護連携推進協議会及び作業部会（入退院調整・研修・患者情報共有ICT・普及啓発・病院有床）を設置し、連携に関する様々な解決策を継続的に検討</p> <p>○入退院調整ルール作成、療養ノート（わたしの人生ファイル）の配布、MCSの普及、市民への広報発行、研修実施</p> <p>○多職種の顔の見える関係づくりとして合同意見交換会を実施予定</p> <p>○介護資源マップの管理、更新</p> <p>○機能強化型地域包括支援センター、行田市在宅医療・介護連携支援センターを設置し、在宅療養の相談、医療職・介護職からの在宅医療、介護に関する相談窓口を継続設置</p> <p>○三師会・市、機能強化型地域包括支援センター、在宅医療・介護連携支援センターとのミーティングの継続</p>	高齢者福祉課

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	在宅療養を支援する連携体制の推進	加須市	○在宅医療・介護連携推進委員会の開催（3回） ○北彩あんしんリングへの登録機関数〔市内〕（59機関） ○医療・介護関係者への研修の実施（2回）	A	○在宅医療・介護連携推進委員会の開催 ○ICT「北彩あんしんリング」の普及 ○医療・介護関係者への研修の実施	高齢者福祉課
		羽生市	○北埼玉へ在宅医療・介護連携推進事業を加須市と共同委託（委託事業） ・北埼玉在宅医療連携室の設置・運営 ・在宅医療・介護関係者の情報共有支援の実施（ICT周知活動） ・多職種研修の開催（10月5日） ○在宅医療・介護連携推進会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面にて開催	A	○北埼玉医師会へ在宅医療・介護連携推進事業を加須市と共同委託（委託事業） ・北埼玉在宅医療連携室の設置・運営 ・在宅医療・介護関係者の情報共有支援（ICTの普及促進含む） ・多職種研修の開催 ○在宅医療・介護連携推進会議の開催	高齢介護課
			「とねっと」の普及啓発を図り、かかりつけ医との連携強化に努めた。	A	○「とねっと」を活用した情報共有及び医療連携の推進	健康づくり推進課
		久喜市	○久喜市在宅医療・介護連携推進会議を1月に開催（書面開催）した。 ○三市一町による協定に基づき南埼玉郡市医師会に在宅医療サポートセンターの業務を委託し、関係機関や市民の相談窓口として活動を行いながら、関係機関の連携の場を作り、医療・介護連携の推進を図った。	B	○久喜市在宅医療・介護連携推進会議の開催（新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、開催時期、開催方法については検討） ○久喜市・蓮田市・白岡市・宮代町の三市一町による協定に基づく事業連携 ○在宅医療サポートセンターの設置 ○社会資源把握支援システムの導入	高齢者福祉課
		蓮田市	○在宅医療・介護資源実態調査を実施し、在宅医療連携ガイドを作成・公表した。 ○在宅医療・介護関係者を対象にアドバンスケアプランニングに関するオンラインでの研修会を白岡市、宮代町と共同開催し、現場レベルでの多職種協働を推進した。 ○南埼玉郡市医師会へ在宅医療・介護連携推進事業を久喜市、蓮田市、宮代町と共同委託。在宅医療サポートセンターを設置・運営し、相談支援等を行うほか、MCSを利用した情報共有の推進、地域住民への普及啓発等を行った。（相談件数延べ146件） ○オリジナルのエンディングノートを活用し、アドバンスケアプランニングの普及啓発を行った。市民講座1回、エンディングノート配布と説明会13回、出前講座11回実施。	A	○多職種が連携して在宅医療・介護を推進できるよう在宅医療連携ガイドの追加・更新をする。 ○「蓮田市、白岡市及び宮代町在宅医療・介護連携推進事業の共同実施に関する協定書」に基づき、在宅医療・介護関係者連携会議及び研修会を開催し、現場レベルでの多職種協働を推進する。 ○南埼玉郡市医師会管内で、「入退院支援ルール」の策定を目指し、切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築に向けた検討を行う。	在宅医療介護課
		幸手市	○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 2回 ○介護保険における地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施 ・在宅医療・介護マップの情報を更新しホームページに掲載 ・ケアカフェ（在宅医療・介護連携推進研修会）の実施 10回 ・事例検討会議（地域包括ケア会議）の実施 11回 ・ICTシステム普及に向けたキャラバン活動 ・サロン等での健康相談（暮らしの保健室）21ヶ所 ・市民の集い（オンデマンド配信 3/31現在 2,022回視聴） ・暮らしの保健室運営者等のカンファレンス 7回 ・住民主催の地域ケア会議 1回 ・住民向けパンフレットの作成と広報の発行 11回 ・菜のはなチャンネル（You Tube） ・ピアサポートの会 2回	A	○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 ○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施（北葛北部医師会へ委託） ○幸手市、杉戸町での共同実施における協定を締結し事業を推進する。	介護福祉課
		白岡市	○南埼玉郡市医師会へ在宅医療・介護連携推進事業を久喜市、蓮田市、宮代町と共同委託。在宅医療サポートセンターを設置・運営し、相談支援等を行った。（相談件数延べ148件） ○地域の医療機関や介護事業所等の情報収集を行った医療介護連携ガイドの追加・修正を行った。（令和2年度版を令和3年3月に発行）	B	○南埼玉郡市医師会へ在宅医療・介護連携推進事業を久喜市、蓮田市、宮代町と共同委託。在宅医療サポートセンターを設置・運営し、相談支援等を行うほか、医療機関・訪問看護ステーション連携会議の開催、情報共有シートやMCSといった情報共有の支援、地域住民への普及啓発等を行う。 ○地域の医療機関や介護事業所等の情報収集を行った医療介護連携ガイドの追加・修正を行う。	高齢介護課

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度実施計画	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	在宅療養を支援する連携体制の推進	宮代町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多職種連携会議 ⇒新型コロナウイルス感染症の影響により未実施</li> <li>○地域包括支援センター・看護師・ケアマネ等を対象にした研修会を開催（1回）</li> <li>○在宅医療サポートセンターの設置（年間を通して設置）</li> <li>○医療機関、訪問看護ステーションとの連携会議 ⇒新型コロナウイルス感染症の影響により未実施</li> <li>○多職種連携が「ト」の追加修正</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多職種連携会議の開催</li> <li>○地域包括支援センター・看護師・ケアマネ等を対象にした研修会の開催 ⇒二市一町（蓮田市・白岡市・宮代町）共同事業</li> <li>○在宅医療サポートセンターの設置</li> <li>○医療機関、訪問看護ステーションとの連携会議開催 ⇒三市一町（久喜市・蓮田市・白岡市・宮代町）共同事業</li> <li>○多職種連携が「ト」の追加修正</li> </ul>	健康介護課 高齢者支援 担当
		杉戸町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 2回</li> <li>○介護保険における地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・介護マップの情報を更新しホームページに掲載</li> <li>・ケアカフェ（在宅医療・介護連携推進研修会）の実施 10回</li> <li>・事例検討会議（地域包括ケア会議）の実施 11回</li> <li>・ICTシステム普及に向けたキャラバン活動</li> <li>・サロン等での健康相談（暮らしの保健室）25ヶ所</li> <li>・市民の集い（オンデマンド配信 3/31現在 2,022回視聴）</li> <li>・暮らしの保健室運営者等のカンファレンス 7回</li> <li>・住民向けパンフレットの作成と広報の発行 11回</li> <li>・菜のはなチャンネル（You Tube）</li> <li>・ピアサポートの会 2回</li> </ul> </li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催</li> <li>○介護保険における地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施（北葛北部医師会へ委託）</li> <li>○杉戸町・幸手市での共同実施における協定を締結し、事業を推進する。</li> </ul>	高齢介護課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	患者・家族を支える多職種協働の推進	行田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行田市在宅医療・介護連携推進協議会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</li> <li>○医療、介護関係事業所を代表する委員同士の顔の見える関係を構築し、継続的に医療、介護連携に関する様々な解決策の検討を行うため、作業部会を5部会（入退院調整・研修・患者情報共有ICT・普及啓発・病院有床）設置。令和2年度は、通常の参集型に加え、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ZOOMによる会議を開催。</li> <li>○療養ノート及びMCSの普及啓発のための紹介VTRの試写会を開催。</li> <li>○多職種の顔の見える関係づくりとして合同意見交換会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</li> <li>○介護資源マップの管理、更新（事業所の内容更新）</li> <li>○機能強化型地域包括支援センター、行田市在宅医療・介護連携支援センターにおいて、在宅療養の相談、医療職・介護職からの在宅医療、介護に関する相談を受け付けた。</li> <li>○三師会（医師、歯科医師、薬剤師）、市、機能強化型地域包括支援センター、在宅医療・介護連携支援センターとのミーティングを2か月に1度、偶数月に開催（2月はZOOM開催）。</li> <li>○地域ケア推進会議において、市内病院に勤務するリハビリ職及び歯科医師会会員等に専門職アドバイザーを依頼し、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護事業所職員を対象にした会議を行った。年間12回の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5回の実施となった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療、介護職の関係団体より選出し、行田市在宅医療・介護連携推進協議会及び作業部会（入退院調整・研修・患者情報共有ICT・普及啓発・病院有床）を設置し、連携に関する様々な解決策を継続的に検討</li> <li>○入退院調整ルール作成、療養ノート（わたしの人生ファイル）の配布、MCSの普及、市民への広報発行、研修実施</li> <li>○多職種の顔の見える関係づくりとして合同意見交換会を実施予定</li> <li>○介護資源マップの管理、更新</li> <li>○機能強化型地域包括支援センター、行田市在宅医療・介護連携支援センターを設置し、在宅療養の相談、医療職・介護職からの在宅医療、介護に関する相談窓口を継続設置</li> <li>○三師会・市、機能強化型地域包括支援センター、在宅医療・介護連携支援センターとのミーティングの継続</li> </ul>	高齢者福祉課
		久喜市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○久喜市在宅医療・介護連携推進会議を1月に開催した（書面開催）。在宅医療・介護関係者研修会については新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見合わせ、代替案として埼玉県福祉部地域包括ケア課がオンライン研修として開催した研修動画の紹介や、コロナ禍における在宅医療・介護連携の問題点等について市内関係機関の意見を聴取することを目的としてアンケート調査を実施した。</li> <li>○令和元年度まで南埼玉郡市医師会（在宅医療サポートセンター）に一部事業委託し開催してきた医療機関と訪問看護ステーションとの連携会議については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できなかったが、在宅療養支援ベッドの運用に関する協力医療機関に対する意向調査等を行い、令和3年度以降の在宅料支援ベッドの確保に関する調整を行った。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○久喜市在宅医療・介護連携推進会議、在宅医療・介護関係者研修会の開催（新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、開催時期、開催方法については検討）</li> <li>○社会資源把握支援システムの導入</li> </ul>	高齢者福祉課

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	患者・家族を支える多職種協働の推進	幸手市	○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 2回 ○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施（北葛北部医師会へ委託） ○幸手市、杉戸町での共同実施における協定を締結し事業を推進	A	○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 ○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施（北葛北部医師会へ委託） ○幸手市、杉戸町での共同実施における協定を締結し事業を推進する。	介護福祉課
		白岡市	○蓮田市、宮代町と在宅医療・介護連携推進の共同事業として研修会（1回延べ92人）を行った。	B	○蓮田市、宮代町と在宅医療・介護連携推進の共同事業として在宅医療・介護関係者連携会議及び研修会を行う。	高齢介護課
		杉戸町	○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 ○介護保険における地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施（北葛北部医師会へ委託） ○杉戸町・幸手市での共同実施における協定を締結し事業を推進する。	A	○北葛北部在宅医療・介護連携推進会議の開催 ○介護保険における地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業の実施（北葛北部医師会へ委託） ○杉戸町・幸手市での共同実施における協定を締結し事業を推進する。	高齢介護課
		幸手保健所	○難病対策地域協議会 書面会議（20人）	A	○難病対策地域協議会の開催	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	ICTによる在宅医療・介護連携ネットワークシステムの推進	行田市	○行田市在宅医療・介護連携支援センターを中心にMCSの普及、利用促進を図った。	B	○MCS普及の継続	高齢者福祉課
		加須市	○埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会の総会、作業部会、システムWG会議、行政会議で地域医療ネットワークシステム「とねっと」を活用した、多職種間の連携や情報共有等について協議を進めた。	A	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」を活用した情報共有及び医療連携の推進	健康医療推進課
			○医療・介護分野の多職種が「北彩あんしんリング」により情報を共有し、医療や介護を提供している在宅療養者（市民）の数（R3.3.31現在） 25人	A	○医療・介護関係者による「北彩あんしんリング」を活用した効果的な在宅療養者情報の共有の推進	高齢介護課
		羽生市	「とねっと」の普及啓発を図り、かかりつけ医との連携強化に努めた。	A	○「とねっと」の普及啓発を図り、かかりつけ医と中核病院の連携を強化する。	健康づくり推進課

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	ICTによる在宅医療・介護連携ネットワークシステムの推進	蓮田市	○在宅医療・介護連携ネットワークシステムのメディカルケアステーションについて、委託先の南埼玉郡市医師会が、管内4市町の介護事業所を対象に情報提供、周知、普及啓発を実施した。 また、メディカルケアステーションがより広く活用されるよう、運用ポリシーの改正内容について検討した。	A	○在宅医療・介護連携ネットワークシステムのメディカルケアステーションについて、地域の医療・介護関係者に情報提供、周知、普及啓発、実務研修を行う。南埼玉郡市医師会管内の4市町が南埼玉郡市医師会に委託して実施する。 ○在宅医療・介護関係者連携会議作業部会において、メディカルケアステーションの具体的な運用方法について検討し、実施する。	在宅医療 介護課
		幸手市	○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業においてICTシステムの普及を推進 ・ICTシステム普及に向けたキャラバン活動 延べ186件 MCSの普及に向けて、市内医療機関と介護事業所を訪問して、具体的な周知と導入について説明するキャラバンを実施	A	○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業においてICTシステムの普及を推進（北葛北部医師会への委託） ○幸手市、杉戸町での共同実施における協定を締結し事業を推進する。	介護福祉課
		白岡市	○在宅医療・介護連携ネットワークシステムであるメディカルケアステーション（MCS）について、委託先の南埼玉郡市医師会が管内4市町の介護事業所を対象に、情報提供、周知及び普及啓発を行った。また、MCSの普及啓発を目的に南埼玉郡市医師会とともに運用ポリシーの改正内容を検討した。	B	○蓮田市、宮代町と在宅医療・介護連携推進の共同事業として在宅医療・介護関係者連携会議作業部会を設置し、MCSについて普及啓発や具体的運用について検討する。	高齢介護課
		宮代町	○医療・介護連携ネットワークシステムのメディカルケアステーションに関する情報提供・周知・普及啓発を行った。	A	○医療・介護連携ネットワークシステムのメディカルケアステーションに関する情報提供・周知・普及啓発を図るとともに、実務研修を行なう。	健康介護課 高齢者支援 担当
		杉戸町	○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業においてICTシステムの普及を推進 ・ICTシステム普及に向けたキャラバン活動 MCSの普及に向けて、町内医療機関と介護事業所を訪問して、具体的な周知と導入について説明するキャラバンを実施	A	○介護保険 地域支援事業による在宅医療・介護連携推進事業においてICTシステムの普及を推進する。 ○杉戸町、幸手市での共同実施における協定を締結し事業を推進する。	高齢介護課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	地域完結型医療の推進	行田市	○市内特別養護老人ホーム（1件）にて実施。	B	○行田市医師会による主治医（開業医）副主治医（総合病院）制の実施	高齢者福祉課
		加須市	○市報かぞや市ホームページ等を活用し、「とねっと」の普及啓発とともに地域完結型医療の推進に努めた。	A	○地域医療ネットワークシステム「とねっと」の普及啓発に努め、かかりつけ医と中核病院の連携を強化し、地域完結型医療を推進する。	健康医療 推進課
		久喜市	○「とねっと」の活用による医療連携の推進を図ることにより、地域完結型医療の推進を図った。 ○地域医療フォーラムは新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催はできなかった。 ○久喜市地域医療推進協議会は新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催できなかった。	C	○地域医療の充実を図ることを目的に設置された久喜市地域医療推進協議会を開催し、医師や歯科医師、市民、有識者等から幅広いご意見をいただきながら、地域完結型医療を進めていく。	健康医療課
		幸手市	広報や市ホームページ等で「とねっと」の普及啓発を図るほか、出前講座などの機会に「とねっと」登録者数の増加に努めた。	A	○「とねっと」による、中核病院と地域のかかりつけ医の医療連携の推進と、市民への普及啓発を実施する。	健康増進課
		杉戸町	広報や窓口等において「とねっと」の普及啓発と加入者増に努めた。	A	○「とねっと」による中核病院と地域のかかりつけ医の医療連携と、町民への普及啓発を実施し、地域完結型医療を推進する。	健康支援課
		加須保健所	引続き医療情報を共有し、地域完結型医療の推進を支援した。	A	○埼玉県在宅医療提供体制充実支援事業等を活用して、医療情報の共有による地域完結型医療の推進を支援する。	総務・地域 保健推進担当
		幸手保健所	○利根地域保健医療・地域医療構想協議会の開催（R2.11.25 出席委員28人、R3.3.2 書面開催）	A	○利根地域保健医療・地域医療構想協議会の開催	総務・地域 保健推進担当

## 4 健康づくり対策

(目標)

- ・ 栄養・食生活、運動、喫煙などの生活習慣に関する正しい知識の普及啓発を図り、生活習慣を改善して病気の発症を予防する「一次予防」を推進します。
- ・ 健全な食生活や健康的な生活環境の基盤づくりを進め、個人の健康づくりの取組を積極的に支援します。
- ・ ロコモティブシンドロームやサルコペニアの認知度を高め、低栄養や筋力低下の予防を推進します。
- ・ 特定健康診査、がん検診の受診率の向上に努め、的確な保健指導を着実に実施します。

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町(国民健康保険及び教育委員会を含む)保健所	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	行田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「健康レシピ認定店」の周知 リフレット配布(約1500部)</li> <li>○健康講座の実施(27回 延参加者数685人)</li> <li>○健康相談の実施(37件)</li> <li>○健康づくりマイスター養成事業 10回(マイスター認定者数1名,対象講座延参加者数198人)</li> <li>○市民けんこう大学院(10回 延参加者数43人) <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記2事業については、15回の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため一部開催を見合わせた。</li> </ul> </li> <li>○熱中症おたすけ隊の養成</li> <li>○出前講座の実施(6回 延参加者数79人) <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染防止のため実施について制限があった。</li> </ul> </li> <li>○健康づくりチャレンジポイント事業の実施(219人)</li> <li>○健幸案内所にて健康に役立つ情報の周知</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくりのための教室、出前講座の実施</li> <li>○健康づくりチャレンジポイント事業の実施</li> <li>○健康相談の実施</li> <li>○健幸案内所にて健康に役立つ情報の周知</li> <li>○熱中症おたすけ隊の養成</li> <li>○健康づくりマイスター養成事業の実施</li> </ul>	保健センター
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○民生・児童委員へ特定健診の普及啓発の実施</li> <li>○市役所内、市内公共施設(21か所)、医療機関(21か所)、調剤薬局(26か所)へポスター及びチラシを配布し受診啓発を実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内各団体を通じた特定健診受診の普及活動の実施</li> <li>○けんこうまつりでの特定健診のPRの実施</li> <li>○特定健診、特定保健指導の広報やポスター等による受診啓発を実施</li> </ul>	保険年金課
		加須市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活習慣病予防講座の開催：医師出前(CKD、糖尿病等)、運動、歯の講座(延べ人数5,458人)</li> <li>○人工透析者の分析</li> <li>○健康手帳の交付、新40歳への郵送と周知(4,215人)</li> <li>○かぞ健康マイレージの実施(482人)</li> <li>○健康相談の実施(重点健康相談22回、総合健康相談371回)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活習慣病予防講座の開催：医師出前(CKD、糖尿病等)、運動、栄養、歯の講座</li> <li>○人工透析者の分析</li> <li>○健康手帳の交付、新40歳への郵送と周知</li> <li>○かぞ健康マイレージの実施</li> <li>○健康相談の実施</li> </ul>	いきいき健康長寿課
		羽生市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健診・特定保健指導の広報による啓発(5月)</li> <li>○特定健診初回受診者及び早期受診者へ記念品の贈呈による啓発(初回：14件、早期：79件)</li> <li>○特定健診実施医療機関以外の健診結果情報提供者へ記念品の贈呈による啓発(46件)</li> <li>○運動教室の開催を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止</li> <li>○株式会社タニタヘルスリンクによる生活習慣病予防に関する講座の開催を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健診・特定保健指導の広報による啓発</li> <li>○特定健診初回受診者及び継続受診者へ記念品の贈呈による啓発</li> <li>○特定健診実施医療機関以外の健診結果情報提供者へ記念品の贈呈による啓発</li> <li>○運動教室の開催</li> </ul>	国保年金課
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康教育講座(中止)</li> <li>○出前講座…健康長寿サポーター養成講座(中止)</li> <li>○健康チャレンジ事業</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活習慣病予防のための各種健康教育講座を開催</li> <li>○出前講座の開催</li> <li>○羽生市健康チャレンジ事業の実施</li> </ul>	健康づくり推進課
		久喜市	<ul style="list-style-type: none"> <li>久喜地区で民間デイサービス、鷲宮地区でふれあいサロンにて延べ69人の参加者に健康相談を実施した。なお、久喜地区のいきいき温泉久喜、菖蒲地区の菖蒲老人福祉センター、栗橋地区のはつらつ運動教室では新型コロナウイルス感染症の影響により、健康相談を実施できなかった。</li> <li>運動教室や生活習慣病予防講座等の健康教育を実施した(延1,164人参加)。食生活に関する講座・啓発は食生活改善推進員協議会に一部業務委託し食育・生活習慣病予防講座等を実施した。また保健師や栄養士等による健康相談(延726人)を実施した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者に対し健康教育・健康相談を実施</li> </ul>	高齢者福祉課
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種健康教育・健康相談を実施する。</li> </ul>	B	中央保健センター	

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	蓮田市	○定例健康相談実施数 8回 20名 ○骨粗しょう症検診時、個別相談（生活相談33名、栄養相談31名） ○食生活改善推進員協議会による伝達講習会を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。	B	○市民健康講座を実施する。 ○各団体から依頼を受け、出向いて実施する出前健康相談、出前健康講話にて、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発を図る。 ○食生活改善推進員協議会活動を通じた、食生活の正しい知識の普及を図る。	健康増進課
		幸手市	○運動教室 6回×1コース 延べ85人 ○骨粗しょう症検診後健康教室 11回 延べ203人 ○健康マイレージ参加者 1,737人 ○健康長寿サポーター養成講座の実施 養成人数75人 ○出前講座 3回 97人	C	○糖尿病予防講座 ○運動教室 ○ウォーキング講座 ○ウォーキング拠点フォロー講座 ○健康づくりのための動画配信 ○乳がん・子宮がん・骨粗鬆症検診受診者に健康講話を実施 ○健康マイレージの実施 ○健康長寿サポーターの養成 ○出前講座	健康増進課
		白岡市	○健康相談・栄養相談の実施（6回 43人） ○ヘルスアップ教室の実施（2回 8人） ○健康講座・健康教室の実施（1回 1人） ○出前講座の実施（2回 59人） ○健康まつりの実施（新型コロナウイルスの影響で中止） ○健康長寿サポーター養成講座の実施（新型コロナウイルスの影響で養成講座実施できず） ○健康マイレージの実施（参加登録者 843人）	B	○健康相談・栄養相談の実施 ○ヘルスアップ教室の実施 ○健康講座・健康教室の実施 ○出前講座の実施 ○健康マイレージの実施	健康増進課
			小学校4年生（428人）及び中学校1年生（429人）を対象に、小児生活習慣病予防健診を実施した。	A	○小学校4年生及び中学校1年生を対象として、小児生活習慣病予防健診を実施	教育指導課
		宮代町	○健康教育事業を372名に実施した。 ○健康相談を3名に、栄養相談を25名に実施した。 ○みやしろ健康マイレージ事業に2,824名が参加した。	A	○健康教室を実施する。 ○健康相談、栄養相談を実施する。 ○みやしろ健康マイレージ事業を実施する。	健康介護課 健康増進担当
			○11月と3月にウォーキング教室を実施し、52名が参加した。	A	○健康ステーション事業の実施	住民課 国保・後期担当
		杉戸町	○健康相談 115人 ○集団健康教育を実施 1回 延参加者数9人 ○小学6年生を対象に健康教育 376人 ○埼玉県コバトン健康マイレージ事業に参加し、町民の健康づくりを支援した。 歩数計参加人数 1,000人 スマートフォンアプリ参加人数 162人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団健康教育の回数を減らして実施。 医療講演会・健康アカデミー・食生活改善推進協議会による各種料理教室・健康フェスタは中止	B	○健康相談・栄養相談の実施をする。 ○小学6年生を対象に健康教育を実施する。 ○埼玉県コバトン健康マイレージ事業に参加し、町民の健康づくりを支援する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団健康教育・医療講演会・健康アカデミー・食生活改善推進協議会による各種料理教室・健康フェスタは中止の予定。	健康支援課

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	加須保健所	・管内食改リーダー研修会の実施(9/9、24人参加) ・調理師研修会(中止) ・給食施設研修会(10/21、2/10、57人参加) ・健康長寿サポーター養成講座(1回、4人参加)	A	○各種団体や給食施設等を通じて健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及を図る ○健康長寿計画を推進するため「健康長寿サポーター」養成講座を実施	保健予防推進担当
		幸手保健所	○給食施設等に対し衛生管理や栄養管理指導を報告書、電話、来所により実施した(218施設) ○健康長寿サポーター養成講座を実施(10月13日9人)	A	○給食施設指導や健康長寿サポーター養成講座等を通じた健康づくりの啓発普及の実施	保健予防推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	禁煙支援・受動喫煙防止対策の推進	行田市	○禁煙外来治療助成事業の実施（登録者29人 禁煙達成者24人） ○禁煙サポーター薬局設置事業の実施（13薬局 9人） ・市が実施するイベントに合わせて実施予定も、新型コロナウイルス感染症によりイベントが中止となったため、実施人数が激減した ○集団がん検診において、肺の禁煙モデルや肺がんと喫煙に関する内容のパネルの設置、チラシ、ポスターの配布と掲示 ○市ホームページ、ポスターによる周知	B	○禁煙外来治療助成事業の実施 ○禁煙サポーター薬局設置事業の実施 ○肺の健康づくり教室の実施 ○集団がん検診において、肺の禁煙モデルや肺がんと喫煙に関する内容のパネルの設置、チラシ、ポスターの配布と掲示 ○「空気も美味しいお店」認定事業の実施	保健センター
		加須市	○令和元年7月から市のすべての公共施設の敷地内禁煙を施行した。また、受動喫煙のリスクを広報紙等で周知した。	A	○令和元年7月1日から市のすべての公共施設の敷地内禁煙を施行	いきいき健康長寿課
		羽生市	・R2.4月受動喫煙防止全面施行に向け、公共施設管理課へ対策を推進するための働きかけを実施した。 ・商工会議所を通じ商工会会員に対し、埼玉県作成の啓発リーフレットを配布した。 ・市広報、HPに掲載した。	A	○受動喫煙防止に関する広報等を介した普及・啓発	健康づくり推進課
		蓮田市	○公共施設に敷地内禁煙に関する掲示物を掲示。 ○市広報に受動喫煙防止に関する情報を掲載し、たばこが健康に与える害について普及啓発を図った。	B	○たばこが健康に与える害について、機会をとらえて普及啓発していく。	健康増進課
		幸手市	○特定健診保健指導における喫煙リスクの周知及び禁煙支援の実施 ○母子手帳交付時及びパパママ教室など母子関係事業において、喫煙や受動喫煙のリスクについて周知した。	A	○特定健診保健指導における喫煙リスクの周知及び禁煙支援の実施 ○母子手帳交付時及びパパママ教室など母子関係事業において、喫煙や受動喫煙リスクについて周知する。	健康増進課
		白岡市	○受動喫煙防止の啓発を行った。 (なし梨キャンペーン等のポスターを掲示)	B	○受動喫煙防止の啓発	健康増進課
		杉戸町	○受動喫煙に関する情報について、広報・ホームページ等で普及啓発を行った。 ○世界禁煙デー及び禁煙週間等の機会に、ポスターを掲示する等、受動喫煙対策に関する普及・啓発を行った。 ○母子手帳交付時や訪問の際に、喫煙や受動喫煙リスクについて情報提供し、周知を図った。	A	○受動喫煙防止を推進するため、広報・ホームページ等で普及啓発を行う。 ○世界禁煙デー及び禁煙週間等の機会に、受動喫煙対策に関する普及・啓発を行う。 ○母子手帳交付時や訪問の際に、喫煙や受動喫煙リスクについて周知を図る。	健康支援課
		加須保健所	・関係団体等にリーフレットの配布等を行い普及・啓発を図った。 ・管内食改リーダー研修会の実施(9/9、24人参加) ・働く人の健康づくり研修会(11/6、23人参加)	A	○受動喫煙防止対策の推進を図る ○受動喫煙防止対策実施施設認証制度を普及する	保健予防推進担当
		幸手保健所	○受動喫煙に関する住民からの通報に対応した。(16施設19件) ○飲食業者向け講習会にて、改正健康増進法に関する講習を実施した。	A	○受動喫煙防止対策の推進を図る ○健康増進法・埼玉県条例に基づく喫煙可能室の届出制度を適切に運用する	保健予防推進担当

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	民間企業や地区組織などと連携した健康増進計画の推進	行田市	○大塚製薬、上野村と協定を締結し、講師の派遣等健康づくりに協働で取り組んだ。（1回 延参加者数 36人）上野村との事業は、コロナウイルス感染症拡大のため見合わせ ○その他の民間企業の協力による健康づくりの推進事業を予定していたが新型コロナ感染症により中止	B	○大塚製薬、ファイザー、上野村、明治安田生命と当センターで協定を結び市民の健康づくりに協働で取り組んでいる。 ○その他の民間企業にも協力していただき健康づくりを推進している。	保健センター
		加須市	○健康づくり推進委員会において、健康づくり推進計画に位置付けられた令和元年度の事業を評価し、74%が順調又は概ね順調と評価され、市民の健康づくりに寄与した。 ○「埼玉一の健康長寿のまち」推進部会の市民委員が参加する7つのワーキンググループを延べ20回開催し、次期健康づくり推進計画策定について議論した。例年ワーキンググループごとに市民への啓発活動を実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため実施しなかった。	A	○第3次加須市健康づくり推進計画は、令和3年3月に策定済である。 同計画を計画的に実施し、地区組織の代表者や関係団体等の幅広い参画を得て、加須市健康づくり推進委員会を開催し、平成30年度に実施した事業について委員からの意見を頂き、評価する。	健康医療推進課
		羽生市	羽生市健康づくり推進協議会を開催し、第2次羽生市健康づくり計画に基づいて実施した事業の令和元年度実績報告及び令和2年度取り組み目標について意見をいただいた。	A	○羽生市健康づくり推進協議会を開催し、第2次羽生市健康づくり計画に基づいて実施した事業について、ご意見をいただき評価を行う。	健康づくり推進課
		久喜市	久喜市健康増進・食育推進会議、庁内連絡会議、庁内連絡会議作業部会を開催し、関係機関との連携を図りながら、第2次久喜市健康増進・食育推進計画を推進した。また広報やホームページ、SNSを活用し健康や食育に関する普及・啓発を行った。	B	○久喜市健康増進・食育推進会議、庁内連絡会議、庁内連絡会議作業部会を開催し、関係機関との連携を図りながら、第2次久喜市健康増進・食育推進計画を推進する。また、健康づくり・食育推進大会を開催し、健康や食育に関する普及・啓発を行う。	健康医療課
		蓮田市	○健康づくり推進員連絡会議3回 延べ66名 健康づくり推進員連絡会議理事会2回 延べ10名 ○食育推進員連絡会議 2回 延べ29名 食育推進員連絡会議理事会 3回 延べ9名 ○健康づくり・食育推進の実践につながる情報をあらゆる機会をとらえて市民に発信した。 ○健康づくり推進員が中心となり、ウォーキングマップを作成し、公共施設に設置した。 ○食育推進員が中心となり、野菜レシピ集を作成した。レシピについては、市のホームページに掲載し、周知に努めた。	A	○健康増進計画「健康はすだ21（第2次）改定版・蓮田市食育推進計画」の推進を図るため、健康づくり推進員の育成、支援を行う。また、健康づくり推進員連絡会議、食育推進員連絡会議を開催し、各関係機関の連携を図り、健康づくり活動を地域に広げるための環境づくりを進める。 ○健康づくり推進員が作成したウォーキングマップを広く配布し、ウォーキングへの動機づけ及びウォーキングをしやすい環境づくりを進めていく。 ○食育推進員が中心となり作成したレシピ集を活用し、あらゆる機会をとらえて食育推進を図る。	健康増進課
		幸手市	○健康づくり推進会議 1回 「健康日本21幸手計画（第3次）」の取組状況・R3年度の計画について、書面開催した。 ○健康長寿サポーター養成講座の開催（3回、75名）	B	○健康日本21幸手計画（第3次）の推進を図るため、各関係機関の連携を図り、健康づくり推進会議を開催し、推進委員からの意見を反映しながら進行管理を行う。 ○明治安田生命との協定を生かし、市HPに自宅でできる運動動画の掲載や女性の健康をテーマにした講演会を開催予定 ○中外製薬との協定を生かし、乳がん検診受診促進キャンペーンを展開予定 ○健康長寿サポーター養成講座の開催	健康増進課
		白岡市	○はぴすイッチ会議の開催（書面 1回） ○健康づくりに関係する関係団体及び関係課が実施する活動や施策の進捗状況の確認や評価、会議委員からの意見を反映しながら進行管理を行った。	B	○はぴすイッチ会議の開催（2回） ○健康づくりに関係する関係団体及び関係課が実施する活動や施策の進捗状況の確認や評価、会議委員からの意見を反映しながら進行管理を行う。	健康増進課
		加須保健所	・調理師研修会（中止） ・健康長寿サポーター養成講座（1回、4人参加）	B	○各種団体や給食施設等（事業所等）を通じて健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及を図る ○健康長寿計画を推進するため「健康長寿サポーター」養成講座を実施	保健予防推進担当
		幸手保健所	○地域活動栄養士会「彩栄」と連携し活動支援、情報提供を実施した（6月11日・7月9日・9月10日・10月8日延べ24人） ○新型コロナウイルス感染症拡大により食生活改善推進員協議会の総会や市町健康増進計画・食育推進計画策定支援を予定していたがすべて中止となった。	B	○地域の栄養関係団体の活動支援、情報提供等の実施 ○市町の健康増進計画・食育推進計画策定や推進に対する支援	保健予防推進担当

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	生活習慣病の早期発見、早期治療と的確な保健指導の推進	行田市	○糖尿病予防検体測定事業（12箇所の薬局 202件）	A	○薬局を拠点とした健康づくり支援事業の実施。（糖尿病予防検体測定事業）	保健センター
			○特定健診受診勧奨の実施：ハガキ等による受診勧奨の実施（勧奨ハガキの送付1回、経年結果付勧奨シートの送付1回） ○特定保健指導の利用勧奨：（再勧奨通知329件、電話215件） ○人間ドック等の検査費用助成 延べ642名	A	○特定健診の受診勧奨、特定保健指導の利用勧奨の実施 ○人間ドック等の受検費用に対する助成	保険年金課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	生活習慣病の早期発見、早期治療と的確な保健指導の推進	加須市	○特定保健指導の該当者に対し、特定保健指導の実施。該当の方には結果返却時に特定保健指導の案内を渡し利用を促す。申込みのない方には利用勧奨の案内を再通知として行う。（対象者645名、参加者212名） ○加須保健センター地域の会場で、集団で特定健診を受診した方のうち特定保健指導の該当になった方には、健診結果を取りに来ていただき、その時に特定保健指導を実施する。（結果説明会4回実施） ○特定健康診査の結果、特定保健指導の該当にならない60歳代の方に対し、生活習慣病予防の講座を実施。（対象者74名、参加者8名）	A	○特定保健指導の該当者に対し、特定保健指導の実施。該当の方には結果返却時に特定保健指導の案内を渡し利用を促す。申込みのない方には利用勧奨の案内を再通知として行う。 ○加須保健センター地域の会場で、集団で特定健診を受診した方のうち特定保健指導の該当になった方には、健診結果を取りに来ていただき、その時に特定保健指導を実施する。 ○特定健康診査の結果、特定保健指導の該当にならない60歳代の方に対し、生活習慣病予防の講座を実施。	いきいき健康長寿課
		羽生市	○特定健康診査（3527件）・特定保健指導の実施（申込数67件） ○特定健康診査の受診勧奨（8月・10月（2回））と特定保健指導対象者の指導勧奨（通知書発送数：398件） ○人間ドック等の助成（国保：356件、後期高齢者医療加入者：64件） ○後期高齢者の健康診査の実施（2、666件）	A	○特定健康診査、特定保健指導の実施 ○特定健康診査の受診勧奨と特定保健指導対象者の指導勧奨 ○人間ドック等の助成（国保、後期高齢者医療加入者） ○後期高齢者の健康診査の実施	国保年金課
		久喜市	○基本健康診査（受診者：145人） ○指導対象者へ生活改善リーフレットを送付21名 ○健康相談・栄養相談参加者延12人	A	○基本健康診査の実施により早期発見を行う。基本健康診査において、指導対象者へのアプローチを行う。 ○健康相談・栄養相談を実施	健康づくり推進課
			○生活保護受給者等の健康診査を実施した。（受診者数65人） ○胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、乳がん、子宮がん検診を実施した。（がん検診受診者数：32,497人）また、精密検査者に対して、受診勧奨を行った。 ○特定保健指導を実施した。	B	○生活保護受給者等の健康診査を実施する。健診結果により、必要な者に保健指導を実施する。 ○がん検診を実施する。要精密検査者に対して、精密検査の受診勧奨を実施する。 ○特定保健指導を実施する。	中央保健センター
		蓮田市	○市内小学校4年生全児童を対象に小児生活習慣病予防健診を実施した。（受診者数1,169人）	A	○市内小学校4年生全児童を対象とする小児生活習慣病予防健診を実施する。	学務課
			○健康相談実施数 8回20名 ○特定健診受診者数 3,993名（費用決済数） ○後期高齢者健診受診者数 3,318名（費用決済数） ○健康増進法による健診受診者数 5名 ○特定保健指導実施数 積極的支援6名、動機づけ支援40名 ○特定保健指導対象外者への電話健康相談数 45件	A	○定例の健康相談を実施する。 ○特定健診、後期高齢者健診、健康増進法による健診を実施する。 ○特定保健指導を実施する。 ○特定保健指導対象外で保健指導が必要な者に対しては、健康相談、健康講座等を実施する。	健康増進課
		幸手市	○特定健診・保健指導の実施 受診率30.7% ○高齢者健診の実施 1,855人 ○住民健診 10人 ○健康相談・栄養相談での保健・栄養指導の実施、健康相談14回延べ46人、栄養相談12回延べ23人。	B	○特定健診・保健指導の実施 ○高齢者健診の実施 ○健康増進法における住民健診（主に生活保護受給者対象）の実施 ○健康相談・栄養相談の実施	健康増進課 保険年金課
		白岡市	○特定健診・特定保健指導の実施（特定健診8月～12月、受診者2,541人、特定保健指導利用者144人） （特定健診は6月～12月実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により8月～開始となった） ○総合健診（人間ドック）の実施（受診者405人）	B	○特定健診・特定保健指導の実施 ○総合健診（人間ドック）の実施	保険年金課
		宮代町	○特定保健指導を67名（積極的：9名 動機付け：58名）に実施した。 ○後期高齢者の健康診査を個別（8月～11月）と集団健診10日間にて実施。 ○生活保護受給者等に対して健康診査を4名実施。	A	○特定保健指導の実施 ○後期高齢者の健康診査の実施 ○生活保護受給者等の健康診査及び健診結果により保健指導の実施	健康介護課 健康増進担当

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	生活習慣病の早期発見、早期治療と的確な保健指導の推進	杉戸町	○杉戸町国保加入者に対する特定健診および20歳～39歳に対する国保健診を実施（受診者95人） ○特定健診にe-GFR値の検査項目を導入し、慢性腎疾患対策を実施（受診者2,060人） ○杉戸町国保加入者に対する特定健診受診者のうち動機付け、積極的支援のものを対象として、結果相談会を実施（61人） ○健康相談の実施（毎週金曜日）（電話相談は随時） 延115人 ○健康教育の実施 1回 延参加者数 9人	A	○杉戸町国保加入者に対する特定健診および20歳～39歳に対する国保健診を実施する。 ○特定健診にe-GFR値の検査項目を導入し、慢性腎疾患対策を実施する。 ○杉戸町国保加入者に対する特定健診受診者のうち動機付け、積極的支援のものを対象として、結果相談会を実施する。 ○健康相談の実施（毎週金曜日） ○健康教育の実施	健康支援課 町民課
		加須保健所	・糖尿病性腎症重症化予防研修会の実施（2/14、26人参加）	A	○保健指導担当者の資質向上を目的として研修会を開催する	保健予防 推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	地域、学校等における食育等の推進	行田市	○子育て支援センターへの出張歯科相談年間9回実施（12回予定） 延参加者14名	B	○歯科食育講座の実施 ○出前講座の実施 ○子育て支援センターへの出張歯科相談の実施	保健センター
		加須市	○市立各小・中学校での栄養教諭と連携した、授業実践、調理実習、給食試食会等の実施（通年） ○郷土料理・地場産物を活用した給食メニューの提供（通年） ○中学校区でのリンクミーティングにおける食育推進についての情報共有（年3回）	A	○市立各小・中学校における栄養教諭等と連携した食育指導の推進 ○郷土料理・地場産物の活用 ○加須版コミュニティスクール（リンクミーティング）を活用した、保・幼・小・中における一貫性のある食育の推進	学校教育課
			○親と子の食育事業（学童のための栄養学習は中止）の実施（参加者の延べ人数75人） ○健康食メニューを掲載したちらしを市内公共施設に設置（4,174枚配布）	A	○親と子の食育事業（学童のための栄養学習）の実施 ○スローフードレシピの周知	子育て支援課 すくすく子育て相談室 いきいき健康長寿課
		羽生市	○食育に関する知識の普及・伝達 ○地域の郷土料理や伝統料理等、調理実習を伴った普及・継承 ○親子おやつ作り教室 →中止 ○親子でお魚クッキング教室 →中止 ○こども郷土料理体験教室 →中止	C	○食育に関する知識の普及 ○地域の郷土料理や伝統料理の普及・継承	健康づくり 推進課
			○市内小学校の学校保健委員会において、栄養技師による食についての講話を実施（3校） ○市内小学校へ栄養技師による学校訪問を実施（1校） ○全小学校において給食時放送による意識向上の実施（14校）	A	○栄養教諭による授業実施 ○学校給食センターの小中学校訪問 ○全小学校での給食時放送による意識向上	学校教育課
		久喜市	○児童生徒の家庭に予定献立表を10回、給食だよりを9回配布した。また、予定献立表及び給食写真をホームページに掲載した。 ○地場産農産物を使用した学校給食を提供した。（R2年度久喜市産野菜年間使用量約44.3トン、使用割合20.7%）（久喜市産米年間使用量81.3トン、使用割合100%） ○行事食、郷土料理、伝統料理などを採り入れた献立を作成し、生きた教材として学校給食を提供した。また献立のねらい等を学校や家庭に周知した。	B	○学校給食の予定献立表や給食だよりの配布等を通じて、正しい食生活の知識の普及・啓発を行う。 ○地場産農産物を積極的に使用するとともに行事食、郷土料理、伝統料理などを採り入れた献立を実施し、給食を通して食べ物や生産者に対して感謝する心を育むとともに、地域の食材や地域性などへの理解を深める。	学校給食課
		蓮田市	○健康づくり推進員連絡会議・食育推進員連絡会議を開催し、「蓮田市食育推進計画」を推進した。重点プロジェクト（みんなで野菜を食べよう）を推進するために、食育推進員からお勧め野菜のレシピを提供してもらいレシピ集を作成した。また、レシピ集の活用方法、周知方法等について検討した。	A	○食育推進員を中心に「健康はすだ21（第2次）改定版・蓮田市食育推進計画」に基づき、市民に対する食育推進の活動を市全域で実施する。 ○食育推進員が中心となり作成したレシピ集を活用し、あらゆる機会をとらえて食育推進を図る。	健康増進課
		幸手市	○市内小学校に小児生活習慣病予防のための食育講話を実施（6校実施、284人参加）	A	○市内小学校に小児生活習慣病予防のための食育講話を実施	健康増進課
		白岡市	○各栄養教室において、食に関する正しい知識と望ましい食習慣等の普及啓発を行った。	B	○各栄養教室において、食に関する正しい知識と望ましい食習慣等の普及啓発を行う。	健康増進課

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	地域、学校等における食育等の推進	白岡市	○彩の国ふるさと学校給食月間は、6月と11月の2回実施した。 ○栄養教諭は、総合的な学習の時間等に授業に参加し、指導した。	A	○彩の国ふるさと学校給食月間の実施 ○栄養教諭による食育の授業実施	教育指導課
		宮代町	○各学校の実情に合わせて栄養指導を実施。 対象：小学校（全学年）、中学校（1.2年生） 授業回数：各クラス年1回 学年に合わせた内容の栄養指導を行っており、イラストやクイズ方式にしたり、パワーポイントを使って説明したりするなど関心を持つ工夫をして行った。	A	○栄養教諭による食育の授業実施 対象：小学校（全学年）、中学校（1.2年生） 授業回数：各クラス年1回以上	教育推進課
			○親子料理教室の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため実施を見合わせた。	A	○親子料理教室の実施	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○杉戸町食育担当者会議を実施した。 ※新型コロナウイルス感染症防止対策のため食育講演会を中止	A	○杉戸町健康増進計画・食育推進計画策定予定。	健康支援課
		加須保健所	・管内栄養・健康づくり担当者会議を実施（年2回） ・各市健康増進・食育推進会議検討会議への参加 ・食品表示研修会の実施（中止）	B	○管内各市の健康増進・食育推進計画の推進を支援する ○食の安全及び食品（栄養）表示に関する知識の普及を図る	保健予防 推進担当
		幸手保健所	○地域活動栄養士会「彩栄」と連携し活動支援、情報提供を実施し食育に関する課題を検討した（6/11・7/9・9/10・10/8延べ24人） ○新型コロナウイルス感染拡大により食生活改善推進員協議会の総会や市町健康増進計画・食育推進計画策定支援を予定していたがすべて中止となった。	B	○地域の栄養関係団体の活動支援、情報提供等の実施 ○給食施設指導を通じ施設間における摂食嚥下に関する食育状況の把握 ○市町の健康増進計画・食育推進計画策定や推進に対する支援	保健予防 推進担当

## 5 親と子の保健対策

（目標）

- ・ 親と子の悩みや不安を相談でき、必要な支援が受けられるような地域社会を目指します。
- ・ 不妊・不育症に関する支援を進めます。
- ・ 乳幼児のいる家庭の孤立化を防ぎ、育児支援や児童虐待の早期発見の機能を強化します。
- ・ 関係機関の連携を強化していくことにより、親と子の成長や発達を支援します。

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	不妊に関する治療費等への支援や専門相談等の推進	行田市	○早期不妊検査費助成事業 10件 助成額計 187,790円 ○不妊治療費助成事業の実施 34件 助成額計 2,903,225円 ○不育症検査費助成事業 1件 助成額計20,000円	A	○早期不妊検査費助成事業の実施 ○不妊治療費助成事業の実施 ○不育症検査費助成事業の実施	保健センター
		加須市	○不妊治療費、早期不妊検査費、不育症検査費の助成を実施した（不妊治療費41件（うち妊娠者16件）、早期不妊検査費17件、不育症検査費4件）。	A	○不妊治療費、早期不妊検査費、不育症検査費の助成	子育て支援課 すくすく子育て相談室
		羽生市	○不妊治療費助成：30件 ○不妊検査費助成：9件 ○不育症検査費助成：2件	A	○不妊治療費助成・不妊検査費助成・不育症検査費助成の実施	健康づくり 推進課
		久喜市	○不妊検査・不育症検査・不妊治療費の助成を行い、妊娠を望む夫婦に対する経済的な負担の軽減を図った。 不妊検査22件、不育症検査9件、不妊治療80件	B	○不妊検査・不育症検査・不妊治療費の助成を行い、妊娠を望む夫婦に対する経済的な負担の軽減を図る。	中央保健センター

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	不妊に関する治療費等への支援や専門相談等の推進	蓮田市	○婚姻届を出した夫婦に対して、不妊検査や不妊治療に関するパンフレットを配布した。 ○早期不妊検査22件の助成を行った。 ○不育症検査費4件の助成を行った。 ○埼玉県特定不妊治療費助成金又は埼玉県男性不妊治療費助成金の支給を受けた方に対して、延46件助成を行った。	A	○婚姻届を出した夫婦に対して、不妊検査や不妊治療に関するパンフレットを配布する。 ○要綱に基づく助成対象者に対して、早期不妊検査及び不育症検査費用の助成を行う。 ○埼玉県特定不妊治療費助成金又は埼玉県男性不妊治療費助成金の支給を受けた方に対して、助成金の支給を行う。	子ども支援課
		幸手市	○不妊検査費助成3件・不育症検査費助成1件・不妊治療費助成25件 ○助成事業や不妊専門相談について、広報や市ホームページ等で周知を図った。	A	○幸手市不妊検査費・不育症検査費・不妊治療費助成事業を実施する。 ○助成事業や不妊専門相談の周知を行う。	健康増進課
		白岡市	○不妊治療費助成・不妊検査費助成事業の実施し、妊娠を望む夫婦に対する経済的な負担の軽減を図った。令和元年度から不育症検査費助成を開始した。 ○不妊治療費助成44件（うち男性不妊治療費助成1件）、不妊検査費助成16件、不育症検査費助成5件	A	○不妊治療費助成事業、不育症検査費・不妊検査費助成事業の実施	健康増進課
		宮代町	○早期不育症検査助成実施人数：1組 ○早期不妊検査助成実施人数：12組 ○不妊治療費助成人数：15組 男性不妊治療費助成は実績なし	A	○早期不妊検査・不育症検査費助成（上限2万円）の実施 ○不妊治療費助成（特定不妊治療と男性不妊治療に上限5万円）の実施	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○早期不妊検査費助成事業を実施 8件 ○早期不妊治療費助成事業を実施 2件 ○不育症検査費助成事業を実施 2件	B	○早期不妊検査費助成事業を実施する。 ○早期不妊治療費助成事業を実施する。 ○不育症検査費助成事業を実施する。	健康支援課
		加須保健所	○不妊治療費助成実績 202件（行田市60件、加須市101件、羽生市41件）	A	○不妊治療費助成事業の実施	保健予防 推進担当
		幸手保健所	不妊治療費助成 延310件（久喜市140、蓮田市47、幸手市20、白岡市57、宮代町28、杉戸町18）	A	○不妊治療費助成事業の実施 （特定不妊治療及び男性不妊治療の一部）	保健予防 推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	生後4か月ぐら いまでの乳児の 状況把握と育児 支援	行田市	○妊娠届出数 355件 子育て包括支援センター面接件数 291件、電話連絡件数 231件 合計 522件 支援プラン作成数 8件 ○乳幼児産婦訪問指導件数405件、赤ちゃんクラス年間10回開催・参加者数延 83組 ・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言のため、4月5月は中止 ○養育支援連絡票ケースや継続支援ケース、支援プラン作成ケースは常勤地区担当保健師が個別対応を実施	A	○妊娠届によって把握されたすべての妊婦に対して、子育て包括支援センターによる必要な情報の提供や心配事の相談を行い、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を実施する。また、ハイリスク者については、支援プランを作成し、安心安全な出産育児に向けた継続支援を実施する。 ○子育て包括支援センターによる相談、乳児産婦訪問指導、赤ちゃんクラスなどの事業を継続して実施する。 ○支援の必要なケースについては、地区担当保健師による個別対応を実施する。	保健センター
		加須市	○生後4か月児までの児を対象とした全戸訪問事業（乳児家庭訪問事業）を実施し、必要な支援やサービスを提供した（訪問件数は <b>集計中</b> ）。8月に数値確定予定。 ○訪問した母子のケースには虐待予防のアンケートを3つ（育児チェックシート、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんの気持ち質問票）実施し、母の精神面の把握に努めた。 ○育児不安や悩み、子育てに関する支援や情報提供を実施した。	A	○生後4か月児までの児を対象とした全戸訪問事業（乳児家庭訪問事業）を実施し、必要な支援やサービスを提供ができるようにする。 ○訪問した母子のケースには虐待予防のアンケートを3つ（育児チェックシート、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんの気持ち質問票）実施し、母の精神面の把握に努める。 ○育児不安や悩み、子育てに関する支援や情報提供を実施する。	子育て支援課 すくすく子育て 相談室
		羽生市	○妊娠届出数（面接件数）303件、うち支援プラン作成件数72件、後期アンケート送付するなど、出産前の心身状況を伺い、安心して出産、育児に臨めるよう電話・訪問等でサポート。 ○乳幼児全戸訪問件数 284件 ○4か月児健診実施数 242人	A	○子育て世代包括支援センターによる育児不安や悩み、子育てに関する支援や情報提供を実施する。また妊娠期からの継続支援のため、医療機関との連携を行う。 ○乳児家庭全戸訪問事業を実施し、養育環境や母親の精神面の把握、乳児の発育発達の確認を行う。 ○4か月児健診を実施し、その後必要なケースには継続した支援を行う。	健康づくり 推進課

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む）保健所	生後4か月ぐら いまでの乳児の 状況把握と育児 支援	久喜市	○各保健センター内に開設している子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠・出産・子育てに関する相談支援を実施した。 ○乳児家庭全戸訪問事業を実施し、養育環境や母親の精神面の把握、乳児の発育発達の確認及び子育て支援に関する情報を提供した。訪問家庭数 834	A	○妊娠届により把握した妊婦に対し、子育て包括支援センターによる妊娠・出産・子育てに関する情報の提供や相談支援を行う。 ○乳児家庭全戸訪問事業を実施し、養育環境や母親の精神面の把握、乳児の発育発達の確認を行う。また、子育て支援に関する情報を提供する。	中央保健センター
		蓮田市	○こんにちは赤ちゃん訪問において、生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や育児相談を行った。延313件実施 ○3～4か月児健診の未受診者に対し、地区担当保健師や母子保健推進員が訪問・電話連絡等を行い虐待や育児不安を早期発見できるように努めた。 ○産後うつ病アンケートにより把握したハイリスクの母に対して、継続して支援を行った。	A	○こんにちは赤ちゃん訪問において、生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や育児相談を行う。 ○3～4か月児健診の未受診者に対し、地区担当保健師や母子保健推進員が訪問・電話連絡等を行い虐待や育児不安を早期発見できるように努める。 ○産後うつ病アンケートにより把握したハイリスクの母に対して、継続して支援を行う。	子ども支援課
		幸手市	○生後4か月までの乳児とその家族に対し、母子保健推進員または常勤保健師が訪問。184件訪問（訪問率97.4%） ○訪問時の質問紙は、外国人や明らかな精神疾患のある産婦を除き件実施。EPDSが9点以上の11人については、電話や各種事業でフォローを実施	A	○乳児家庭全戸訪問事業の実施 ○訪問時の質問紙を活用し、虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるように努める。 ○産後ケア事業の実施 ○子育て総合窓口における早期からの専門的相談・支援	健康増進課
		白岡市	○平成31年1月から子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期にわたり、状況に応じた保健指導や子育てに関する情報提供等を行い、必要なサービスにつなげた。 ○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、保健師等が生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児支援を行った。また、必要時産後うつ病アンケートにより、母の精神面の把握に努め、育児不安や悩みに対する継続した支援を行った。（事業対象訪問数437件） ○4か月児健診において、状況を把握し育児支援を行い、また、未受診児の状況把握に努めた。（受診者数395人 未受診7人全員の状況把握を行った。）	A	○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、保健師等が生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児支援を行う。また、必要時産後うつ病アンケートにより、母の精神面の把握に努め、育児不安や悩みに対する継続した支援を行う。 ○4か月児健診において、状況を把握し育児支援を行う。また、未受診児の状況把握に努める。 ○状況に応じた保健指導や子育てに関する情報提供を行い、必要なサービスにつなげる。	健康増進課
		宮代町	○赤ちゃん訪問実施（195人、面接1人） ○産婦にEPDS実施（196人） ○月1回ケース対応会議の開催（11回実施）※新型コロナウイルス感染防止のため1回中止 ○産後ケア事業を5人に実施	A	○子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠期からの切れ目のない支援の実施 ○生後4か月未満の乳児がいるすべての家庭訪問の実施 ○全ての産婦にEPDSを実施しハイリスク者はケース対応会議での検討実施 ○産後ケア事業の実施	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、看護師、保健師、助産師が生後4か月までの乳児と産婦への保健指導を実施。延172件 ○「すくすく子育てアンケート」「EPDS」（産後のメンタルヘルス質問紙）を活用し虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるよう努めた。さらに訪問で把握した情報を3～4か月児健診へつなげ継続した支援を実施した。 ○3～4か月健診：該当：200人 受診：186人 受診率：93.0% ○3～4か月健診未受診児の状況把握に努めた。必要により医療機関、子育て支援課等と連携を図った。 ○産後ケア事業：利用実人数 2人	A	○子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期からの切れ目のない支援を実施する。 ○こんにちは赤ちゃん訪問事業により、看護師、保健師等が生後4か月までの乳児と産婦への保健指導を実施する。 ○「すくすく子育てアンケート」「EPDS」（産後のメンタルヘルス質問紙）を活用し虐待ハイリスクや育児不安を早期に発見できるよう努める。さらに訪問で把握した情報を3～4か月児健診へつなげ継続した支援を実施する。 ○3～4か月健診未受診児の状況把握に努める。必要により医療機関、子育て支援課と連携を図る。 ○産後ケア事業を実施する。	健康支援課

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	育児支援に重点をおいた保健指導の充実	行田市	○赤ちゃんクラス年間10回開催・参加者数延べ83組 ○離乳食初期教室10回、参加者数109名 離乳食中期教室5回、参加者数53名 離乳食後期教室5回、参加者数46名 ○10ヶ月児相談10回、来所乳児数369名 いずれの事業も、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言のため4月5月は中止	A	○赤ちゃんクラスの実施 ○離乳食初期教室・離乳食中期教室・離乳食後期教室の実施	保健センター
		加須市	○乳幼児期の疾患や発育異常等を早期発見し、親の育児や生活習慣病等に対する相談支援を行った（乳幼児健康診査受診率3～4か月児健診96.2%、9～10か月児健診97.5%、1歳6か月児健診94.6%、2歳児健診94.1%、3歳児健診95.5%）。 ○未受診者の状況把握において、引き続き訪問や電話等で確認支援していく。	A	○乳幼児期の疾患や発育異常等を早期発見し、親の育児や生活習慣病等に対する相談支援を行う。 ○未受診者の状況把握において、引き続き訪問や電話等で確認支援していく。	子育て支援課 すくすく子育て相談室
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	育児支援に重点をおいた保健指導の充実	羽生市	○乳幼児健康診査の問診等により育児不安や発育発達の状況把握を行い、専門的な相談支援を実施する。	A	○乳幼児健康診査の問診等により育児不安や発育発達の状況把握を行い、専門的な相談支援を実施する。	健康づくり推進課
		久喜市	○育児環境や家族の健康状態、育児負担等に着目した問診、相談を実施するとともに、必要に応じ、継続した支援を実施する。	B	○育児環境や家族の健康状態、育児負担等に着目した問診、相談を実施するとともに、必要に応じ、継続した支援を実施する。	中央保健センター
		蓮田市	○乳幼児健診問診スタッフが事前に要フォロー児の情報を共有し、継続支援が実施できるようにした。 ○図書館職員と協力し、3～4か月児健診においてブックスタート事業を継続して行った。 ○9か月児健診において発達相談を実施し、理学療法士、保健師によるフォロー体制を組んだ。延18件 ○1歳6か月児健診と3歳児健診において心理相談を実施し、臨床心理士・児童ケースワーカー・家庭児童相談員・保健師等による多職種でのフォロー体制を組んだ。延102件	A	○乳幼児健診問診スタッフが事前に要フォロー児の情報を共有し、継続支援が実施できるようにする。 ○図書館職員と協力し、3～4か月児健診においてブックスタート事業を継続して行う。 ○9か月児健診において発達相談を実施し、理学療法士、保健師によるフォロー体制を組む。 ○1歳6か月児健診と3歳児健診において心理相談を実施し、臨床心理士・児童ケースワーカー・家庭児童相談員・保健師等による多職種でのフォロー体制を組む。	子ども支援課
		幸手市	○乳幼児健康診査で受診者全員に個別面接・個別相談を行い、育児不安の軽減や発育発達の確認・助言を行う。 ○必要時専門的な相談・指導ができるよう乳幼児発達相談や臨床心理士によるかるがも相談、子育て総合窓口からの指導を行う。 ○各健診終了後、他職種スタッフによるカンファレンスを実施し、継続フォローの方針を検討する。	A	○乳幼児健康診査で受診者全員に個別面接・個別相談を行い、育児不安の軽減や発育発達の確認・助言を行う。 ○必要時専門的な相談・指導ができるよう乳幼児発達相談や臨床心理士によるかるがも相談、子育て総合窓口からの指導を行う。 ○各健診終了後、他職種スタッフによるカンファレンスを実施し、継続フォローの方針を検討する。	健康増進課
		白岡市	○各健診において、保健師が全ての受診者と個別面接・相談を実施し育児支援を行った。 ○4か月児健診において、離乳食開始に向けた教室の開催。 ○10か月児健診において、学び支援課と協働によるブックスタート事業の実施。（新型コロナウイルス対策のため、絵本の手渡しのみ） ○1歳6か月児健診、3歳児健診において、臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施した。 ○健診終了後に多職種によるカンファレンスを実施し、健診時の情報共有を行い、継続フォローの方針を検討した。また、未受診者の状況を把握した。	B	○各健診において、保健師が全ての受診者と個別面接・相談を実施し育児支援を行う。 ○4か月児健診において、離乳食開始に向けた教室の開催。 ○10か月児健診において、学び支援課と協働によるブックスタート事業の実施。 ○1歳6か月児健診、3歳児健診において、臨床心理士を配置し必要時個別相談を実施する。 ○健診終了後に多職種によるカンファレンスを実施し、健診時の情報共有を行い、継続フォローの方針を検討する。また、未受診者の状況を把握する。	健康増進課
		宮代町	○各健診において、保健師が受診者全員と個別に面接・相談を行い育児支援をした。 ○1歳6か月児健診、3歳児健診では希望者に臨床心理士の個別相談を実施（24人） ○健診後はカンファレンスを実施（48回）	A	○各乳幼児健診におけるグループ支援と個別支援の充実 ○健診後、多職種によるカンファレンスの実施	健康介護課 健康増進担当

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	育児支援に重点をおいた保健指導の充実	杉戸町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各健診とも受診者全員と個別面接を実施した。</li> <li>○3か月健診にファミリーサポートセンター職員による利用勧奨は新型コロナウイルス感染拡大予防の為、実施しなかった。</li> <li>○3か月健診で、赤ちゃんと保護者の方が一緒に絵本を楽しむひとときを持ってもらおうといった子育て支援の取組として町立図書館から絵本を手渡しするブックスタートの場の提供をした。</li> <li>○乳幼児健診時に子育て支援センター職員によるサービスの利用勧奨を行った。</li> <li>○1歳6か月児健診、3歳児健診に臨床心理士の個別指導を実施した。</li> <li>○3歳児健診時にボランティアの絵本読み聞かせコーナーを設定し、親子で絵本に親しみコミュニケーションを深める支援は、新型コロナウイルス感染拡大予防の為、実施しなかった。</li> <li>○地域における支援が必要な母子については、子育て支援センターへ面接等の支援や情報の共有を依頼した。</li> <li>○健診の未受診者について、保健師間で定期的カンファレンスを実施、今後の方向性について協議・情報の共有化を図った。</li> <li>○私立保育園に訪問、町立保育園との連携により、未受診者の状況や集団での発達状況を把握した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各健診とも受診者全員と個別面接を実施する。</li> <li>○3か月健診で、赤ちゃんと保護者の方が一緒に絵本を楽しむひとときを持ってもらおうといった子育て支援の取組として町立図書館から絵本を手渡しするブックスタートの場の提供</li> <li>○乳幼児健診時に子育て支援センター職員によるサービスの利用勧奨を行う。</li> <li>○1歳6か月児健診、3歳児健診に臨床心理士の個別指導を実施する。</li> <li>○地域における支援が必要な母子については、面接等の支援や情報提供を依頼する。</li> <li>○健診の未受診者について、保健師間で定期的カンファレンスを実施、今後の方向性について協議・情報の共有化を図る。</li> <li>○私立保育園に訪問、町立保育園との連携により、未受診者の状況や集団での発達状況を把握する。</li> </ul>	健康支援課
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	子供の心の健康に関する相談や情報提供の充実	行田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心理発達相談 9回、実利用者数 16名 延べ利用者数 17名</li> <li>○乳幼児相談 10回 相談者数 29人</li> <li>・いずれの事業も新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言により4月5月は中止</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心理発達相談の実施</li> <li>○乳幼児相談の実施</li> </ul>	保健センター
		加須市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児健診や乳幼児健康相談で、乳幼児及びその養育者に対し、安心して育児ができるよう子どもの心の健康に関する相談や情報提供を行い、健全な発育発達を促す支援をした（乳幼児健康診査受診率 3～4か月児健診96.2%、9～10か月児健診97.5%、1歳6か月児健診94.6%、2歳児健診94.1%、3歳児健診95.5% 乳幼児健康相談参加者延べ人数278人）。</li> <li>○子育てに関する指導・助言を実施し、必要な方には訪問や電話にて相談や情報提供を実施する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児健診や乳幼児健康相談で、乳幼児及びその養育者に対し、安心して育児ができるよう子どもの心の健康に関する相談や情報提供を行い、健全な発育発達を促す支援を図る。</li> <li>○子育てに関する指導・助言を実施し、必要な方には訪問や電話にて相談や情報提供を実施する。</li> </ul>	子育て支援課 すくすく子育て相談室
		羽生市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健所での相談窓口の紹介</li> <li>○市内幼保に臨床心理士が巡回訪問</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児健診や訪問・相談事業等において、子供の心の健康問題を把握した場合は、保健所や医療機関等と連携し、必要な支援を行う。</li> <li>○幼保への臨床心理士による巡回相談の継続</li> </ul>	健康づくり推進課
		久喜市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児健診や訪問、相談事業等において、子どものこころの健康問題を把握した場合は、保健所や医療機関等の関係機関と連携し、必要な支援を行った。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児健診や訪問、相談事業等において、子どものこころの健康問題を把握した場合は、保健所や医療機関等の関係機関と連携し、必要な支援を行う。</li> </ul>	中央保健センター
		蓮田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○18歳未満の子どもの心の問題に対して、関係機関と連携をとり支援した。</li> <li>○保健所で実施する心に関する事業の情報提供した。</li> <li>○各種乳幼児健診や乳幼児相談において、個別相談を実施した。</li> <li>○1歳6か月児健診・3歳児健診時に心理相談を実施した。22回延102件</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○18歳未満の子どもの心の健康問題に対し、関係機関と連絡を取り支援していく。</li> <li>○保健所が実施する心に関する事業の情報提供をする。</li> <li>○各乳幼児健診、乳幼児相談において個別相談の実施をする。</li> <li>○1歳6か月児健診・3歳児健診時に心理相談を実施する。</li> </ul>	子ども支援課
		幸手市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○臨床心理士による相談（かるがも相談）10回 延べ23人</li> <li>○各種健診にて保健師等が受診者に面談を実施した。</li> <li>○幼児健診にて臨床心理士による個別相談 1歳6か月児健診18人、3歳5か月児健診19人</li> <li>○子育て総合窓口にて助産師による相談を実施1164人</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○臨床心理士による相談を実施</li> <li>○各健診受診者全員と個別面接、個別相談を実施</li> <li>○1歳6か月児と3歳5か月児健診で臨床心理士を配置し必要時、個別相談を実施</li> <li>○3歳5か月児健診で家庭児童相談員を配置し必要時、個別相談を実施</li> <li>○子育て総合窓口における専門的随時相談</li> </ul>	健康増進課

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	子供の心の健康に関する相談や情報提供の充実	白岡市	○健診や相談事業等において、保健師による個別相談のほか必要時臨床心理士による心理相談を実施（フォロー相談 24回81人）した。 ○状況に応じて保護者に療育支援先の情報提供等を行い関係機関と連携した。	A	○健診や相談事業等において、保健師による個別相談のほか必要時臨床心理士による心理相談の実施 ○状況に応じて保護者に療育支援先の情報提供を行い関係機関と連携する。	健康増進課
			○県の相談窓口の案内を掲載している。 ○小学校6校、中学校4校に相談員を配置した。	A	○当課及び関係機関で実施している教育相談に係る情報を通知やHPで提供 ○市内の学校へ相談員を配置	教育指導課
		宮代町	○臨床心理士による心理相談の実施（38回延95人） ○各乳幼児健診における個別相談の実施	A	○臨床心理士による心理相談の実施 ○健康相談において、個別相談の実施	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	○発達支援事業：発達の遅れや偏り、生活上の支障が生じている親と子の相談として、臨床心理士による個別に子育て相談を実施した。（延べ86人） ○幼児健診等において、必要があるケース、希望のあるケースについては臨床心理士の個別相談を実施した。	A	○発達支援事業：発達の遅れや偏り、生活上の支障が生じている親と子の相談として、臨床心理士による個別に子育て相談を実施、保護者の育児不安等の軽減を図る。 ○幼児健診等において、必要があるケース、希望のあるケースについては臨床心理士の個別相談を実施する。	健康支援課
		加須保健所	子どもの心の健康相談 3名 小児精神医療推進連絡会議・研修会（8/21 26名参加）	A	○子どもの心の健康相談の実施。 ○子どもの心のネットワーク事業における会議、研修会の実施。	保健予防 推進担当
		幸手保健所	○子どもの心の健康相談の実施（18回、相談者：実16人延35人） ○小児精神保健医療推進連絡会議・研修会の実施（12/17 32人）	A	○子どもの心の健康相談の実施。 ○連携会議・研修等の実施により連携強化と資質向上を図る。	保健予防 推進担当
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	関係機関の連携強化による子育て支援	行田市	○養育支援連絡票や電話連絡等により、産婦人科医院から早期に支援が必要な方の連絡を相互に行い、連携を図った。 ○要保護児童対策地域協議会へ出席し、関係機関との連携及び支援を行った。 ○ハイリスクケースに対しては引き続き、児童福祉担当、生活保護担当、児童相談所、民生委員、医療機関など必要に応じた機関と連携し支援を行った。	A	○子育て包括支援センターとして、市内及び隣接した産婦人科と連携を図り、切れ目のない支援をつなげる。 ○要保護児童対策地域協議会へケースの提供及び同会議に出席し、関係機関との連携と支援を行う。 ○ハイリスクケースに対しては引き続き、児童福祉担当、生活保護担当、児童相談所、民生委員、医療機関など必要に応じた機関と連携し支援を行う。	保健センター
		加須市	○虐待ケースについて、関係機関で実施する児童虐待ケース会議に参加し、対応した。 ○児童虐待防止等ネットワーク実務者会議へ参加した。 ○保健センター内の育児掲示板の活用をし、子育て情報の提供をした。	A	○虐待ケースについて、関係機関で実施する児童虐待ケース会議を実施する。 ○児童虐待防止等ネットワーク実務者会議を実施し、各機関との連携を図る。 ○子育て支援課内の育児掲示板の活用をし、子育て情報の提供をする。	子育て支援課 すくすく子育て相談室
			○市内小児科専門医の協力を得て、4月から10月の祝日と11月から3月の日曜日、祝日、年末年始（1月1日を除く）における小児科診療を実施した。（実施日41日）	A	○市内小児科専門医の協力を得て、4月から10月の祝日及び11月から3月の日曜日、祝日、年末年始における小児科診療を実施する。	健康医療 推進課
		羽生市	○子育て世代包括支援センターを中心に、市内幼保や医療機関、庁内関係課や他市町村と連携協力し、対象者の支援を行った。	A	○子育て世代包括支援センターを中心に、市内幼保や医療機関、子育て関係機関や他市町村と連携協力し、対象者の支援を行う。	健康づくり 推進課
		久喜市	○要保護児童対策地域協議会に参加・活用した。 ○ハイリスク家庭に対し、児童福祉部門や保健所、医療機関等の関係機関と連携し支援を行った。	B	○要保護児童対策地域協議会に参加。 ○ハイリスク家庭に対し、児童福祉部門や保健所、医療機関等の関係機関と連携し支援を行う。	中央保健 センター
		蓮田市	○支援が必要な母子に対し、児相や保健所、他職種との同行訪問を実施し、必要時ケース会議を開催し情報共有と支援の連携を図った。 ○要保護児童対策地域協議会（代表者会議及び実務者会議）に参加した。 ○就学支援委員会に出席した。 ○蓮田市母子愛育会との連携を図り支援をした。	A	○支援が必要な母子に対し、保健所や多職種と連携を図り対応する。必要時ケース会議を実施し情報共有と支援の連携を図る。 ○要保護児童対策地域協議会（代表者会議及び実務者会議）に参加する。 ○就学支援委員会へ出席する。 ○蓮田市母子愛育会と連携を図り支援する。 ○蓮田駅西口行政センター内子育てサポートコーナー「プレックス・キッズ」において、子育て世代包括支援センターと子育て広場や一時預かり保育室、ファミリーサポートセンターが連携して子育て支援する。	子ども支援課

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	関係機関の連携強化による子育て支援	幸手市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要保護児童対策協議会の開催（実務者会議10回、個別ケース会議1回）</li> <li>○幸手市母子愛育会事業による保健事業協力(0回) 命の大切さ事業（通常は市内小学校9校に実施している）</li> <li>○幼児学級へ協力参加（14回）</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要保護児童対策地域協議会との連携</li> <li>○幸手市母子愛育会との連携</li> <li>○就学支援委員会に参加</li> <li>○妊娠期から子育て支援が行われるよう、子育て総合窓口を委託している幸手地区助産師会が市内医療機関等関係機関や関係団体によびかけ、研修会を実施</li> <li>○子ども支援課主催の幼児学級への保健師の参加と情報共有</li> </ul>	健康増進課
		白岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○母子愛育会と連携した事業の実施や、幼児教室への協力等支援を行った。</li> <li>○小中学校就学支援委員会に参加（3回）。</li> <li>○要保護児童対策地域協議会に参加（4回）。</li> <li>○就学支援にむけた情報交換会を実施（1回）。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○母子愛育会との連携と支援</li> <li>○小中学校就学支援委員会に参加</li> <li>○要保護児童対策地域協議会に参加</li> <li>○就学支援にむけた情報交換会の実施</li> </ul>	健康増進課
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○就学支援委員会では、医師、地域の特別支援学校、健康増進課、福祉課、各学校関係者に委員を委嘱した。</li> <li>○要保護児童対策地域協議会に参加し、警察や児童相談所とも連携することができた。</li> <li>○就学相談では、保護者の同意を得て、市の関係課や保育所等と連携し、情報の共有化を図った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学校就学支援委員会を実施し、関係者を委員に委嘱</li> <li>○要保護児童対策地域協議会に参加</li> <li>○就学相談での情報の共有化</li> </ul>	教育指導課
		宮代町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援課と月1回ケース対応会議の開催※新型コロナウイルス感染防止のため1回中止</li> <li>○要保護児童対策地域協議会に参加（代表者会議、実務者会議 3回）</li> <li>○就学支援委員会に参加（2回）</li> <li>○障害のあるお子さんの情報交換会に就学相談担当者の出席依頼</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援課との連携強化</li> <li>○要保護児童対策地域協議会への出席</li> <li>○教育委員会の就学相談と連携、就学支援委員会に参加</li> <li>○「障害のあるお子さんの情報交換会」に就学相談担当者の出席依頼</li> </ul>	健康介護課 健康増進担当
		杉戸町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援センターの事業に協力、連携を強化するとともに、個別支援の方向性の共有を図った。</li> <li>○養育支援を必要とする家庭について要保護児童対策地域協議会との連携を図り必要な支援を実施した。</li> <li>○未熟児のフォローについては、未熟児養育医療費申請時の面接、子育て支援課及び医療機関との連携を図り、入院中からハイリスク児や養育支援家庭等への支援を実施した。</li> <li>○私立保育園について、保健師が保育園を訪問して園児の様子を把握、発達状況、家庭環境等の情報の共有化を図った。</li> <li>○町立保育園では、随時ケースについて電話等で情報の共有、連携・調整を図った。</li> <li>○教育委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健全発達支援相談指導事業の言語相談、心理相談で実施した発達検査の結果等を保護者の同意のもと、就学に向けて情報提供。</li> <li>・各種教育相談窓口、就学相談等の情報提供</li> </ul> </li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援センターの事業に協力、連携を強化するとともに、個別支援の方向性の共有を図る。</li> <li>○養育支援を必要とする家庭について要保護児童対策地域協議会との連携を図り必要な支援を実施する。</li> <li>○未熟児のフォローについては、未熟児養育医療費申請時の面接、子育て支援課及び医療機関との連携を図り、入院中からハイリスク児や養育支援家庭等への支援を実施する。</li> <li>○私立保育園について、保健師が保育園を訪問して園児の様子を把握、発達状況、家庭環境等の情報の共有化を図る。</li> <li>○町立保育園では、随時ケースについて電話等で情報の共有、連携・調整を図る。</li> <li>○教育委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健全発達支援相談指導事業の言語相談、心理相談で実施した発達検査等を保護者の同意のもと、就学に向けて情報提供。</li> <li>・各種教育相談窓口、就学相談等の情報提供</li> </ul> </li> </ul>	健康支援課
		加須保健所	連絡会（2/9 13人参加） 事例検討会（11/16, 1/15 24人参加）	A	○妊娠期からの虐待予防強化事業により、医療機関と地域保健機関との連絡会、事例検討会の実施。	保健予防推進担当
		幸手保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○母子保健連携調整会議の実施（12/4 市町母子保健担当10人）</li> <li>○小児精神保健医療推進連絡会議・研修会の実施（12/17 32人）</li> <li>○管内自立支援協議会 こども部会等への参画 延2回</li> <li>○要保護児童対策地域協議会へ参加（2回）</li> <li>○事例検討会議へ参加（7回）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○母子保健連携調整会議、小児精神保健医療推進連絡会議、小児精神保健医療研修会、母子保健関連の研修会(事例検討会を含む)等の実施により医療・保健・福祉・教育機関等の連携強化を図る。</li> <li>○要保護児童対策地域協議会等への出席</li> </ul>	保健予防推進担当

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	休日・夜間における適正な小児科受診の啓発	行田市	○市ホームページに埼玉県小児救急電話相談「#8000」を掲載し、またホームページ及び市報に休日急患診療（内科、小児科、外科）について掲載した。 ○乳児産婦全戸訪問事業において「子どもの救急ミニガイドブック」を配布し、説明を行った。	A	○市報、ホームページの掲載 ○乳児産婦全戸訪問事業において「子どもの救急ミニガイドブック」を配布し、啓発する。	保健センター
		加須市	○乳児家庭訪問事業や乳幼児健診等の保健事業の中でチラシを配布して、かかりつけ医や急病時の知識の普及に努めた。	A	○乳児家庭訪問事業や乳幼児健診等の保健事業の中で、かかりつけ医や急病時の知識の普及に努める。（チラシ配布）	子育て支援課 すくすく子育て相談室
			○市内の小児科専門医を講師に招いて、市内4地域で子どもの救急講座・子育て相談を開催する予定だったが新型コロナの影響により中止となった。 ○同講座で配布予定だった「子どもの救急講座ミニガイドブック」を乳幼児健康診査時に配布した。	A	○小児科医による救急講座・子育て相談を開催し、受診が必要な症状等について啓発する。 ○広報紙やホームページへの掲載、チラシの配布などによって啓発する。	健康医療推進課
		羽生市	○広報誌やホームページでの休日当番医、埼玉県小児救急電話相談、埼玉県大人の救急電話相談等の情報提供 ○埼玉県救急電話相談の情報を掲載したポケットティッシュの配布 ○乳幼児健診での「子どもの救急ミニガイドブック」の配布 ○小児科医による小児救急に関する講話（1回）→中止（代わりに市のHPにページを作成）	B	○広報誌やホームページでの休日当番医、埼玉県小児救急電話相談、埼玉県A I 救急相談の情報提供 ○埼玉県救急電話相談の情報を掲載したシールの配布 ○乳幼児健診での「子どもの救急ミニガイドブック」の配布 ○小児科医による小児救急に関する講話	健康づくり推進課
		久喜市	○子ども医療費及びひとり親家庭等医療費の受給資格証に、平日の診療時間内での受診を促す文章を表記した。	A	○子ども医療費及びひとり親家庭等医療費の受給資格証に、平日の診療時間内での受診を促す文章を表記する。	子ども未来課
			○市広報紙・ホームページを活用して、救急電話相談#7119の利用について周知を図った。 ○就学時健康診断時において、保護者に対し#7119についてのカードを配布し、啓発を行った。	A	○市広報・市ホームページ等による情報提供を実施するとともに、就学時健康診断実施の際に啓発を図る。 ○市広報・市ホームページを活用して、救急電話相談#7119の利用について周知を図る。	健康医療課
		蓮田市	○母子健康手帳交付時に「子どものミニ救急ガイドブック」を説明して、352名に配布し、早期知識の普及に努めた。 ○健康カレンダーや子育てガイドブックに小児救急電話番号、#7199、救急医療情報、休日急患診療等の情報を掲載した。 ○乳幼児健診で、事故防止パンフレットを312名に配布した。	A	○母子健康手帳交付時に「子どものミニ救急ガイドブック」の配布をする。 ○健康カレンダーや子育てガイドブックに小児救急電話番号、#8000、救急医療情報、休日急患診療などの情報を掲載する。 ○乳幼児健診で、事故防止パンフレットの配布。	子ども支援課
		幸手市	○広報紙、ホームページ、健康環境カレンダーにより情報提供を図った。 ○乳幼児家庭全戸訪問事業における訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」を配布した（158人） ○10か月児健診時に、事故防止と上手なお医者さんのかかり方について指導を行った（181人） ○救急電話相談等のリーフレットを、乳幼児家庭全戸訪問事業における訪問時（158人）と乳幼児健診時（延べ842人）に配布した。	A	○広報紙、ホームページ、健康環境カレンダーにより情報提供を図る。 ○乳幼児家庭全戸訪問事業における訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」を配布。 ○乳幼児健診時に救急電話相談等のリーフレットを配布。	健康増進課
		白岡市	○広報紙、ホームページ、保健センター事業等予定表に急な病気やけがで困ったときの相談窓口等の情報提供を行った。 ○赤ちゃん訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」等を配布し、適正受診についての啓発した。（赤ちゃん訪問416件）	A	○広報紙、ホームページ、保健センター事業等予定表に急な病気やけがで困ったときの相談窓口等の情報提供を行う。 ○赤ちゃん訪問時に「子どもの救急ミニガイドブック」等を配布し、適正受診についての啓発を行う。 ○市内幼稚園において小児救急啓発事業を行う。 ○ファミリーサポートセンター基礎研修会の実施。	健康増進課
		宮代町	○赤ちゃん訪問・面接時にパンフレットの配布（196人） ○掲載した保健センターガイドを全世帯に配布	A	○赤ちゃん訪問等でパンフレット「子どもの救急ミニガイドブック」の配布による啓発 ○掲載した保健センターガイドを全世帯に配布	健康介護課 健康増進担当

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	評価	令和3年度実施計画	担当部署
市町（国民健康保険及び教育委員会を含む） 保健所	休日・夜間における適正な小児科受診の啓発	杉戸町	<p>○ママパパ教室やこにちは赤ちゃん訪問時に、「上手なお医者さんのかかり方」について保健指導を実施した。</p> <p>○小児救急電話相談「#8000」や埼玉県救急医療情報センターのシステム及び小児休日診療の啓発を行った。（保健センター年間計画表・広報等への掲載・赤ちゃん訪問時）</p> <p>○冬季に実施している小児休日診療については、乳幼児健診時・訪問時などにチラシを配布するとともに、各医療機関・公共施設にポスター掲示またはチラシを設置し、周知を図った。</p>	A	<p>○ママパパ教室やこにちは赤ちゃん訪問時に、「上手なお医者さんのかかり方」について保健指導を実施する。</p> <p>○小児救急電話相談「#8000」や埼玉県救急医療情報センターのシステム及び小児休日診療の啓発を行う。（保健センター年間計画表・広報等への掲載・赤ちゃん訪問時）</p> <p>○冬季に実施している小児休日診療については、乳幼児健診時・訪問時などにチラシを配布するとともに、各医療機関・公共施設にポスター掲示またはチラシを設置し、周知を図る。</p>	健康支援課